

荒砥上ノ坊遺跡 II

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代前半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 6

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

資料	勸業局整理文化財	01-353
	調査事業団保管	592
No. 96-	平成9年1月10日	2(6)
3849		

荒砥上ノ坊遺跡 II

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代前半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 6

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

例言・凡例

1. 本書は、昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書「荒砥上ノ坊遺跡II」（遺物観察表編）である。
2. 遺物は、本文編に掲載した挿図中の実測図の順に掲載している。
3. 遺物の種類毎に表の書式は異なっている。
4. 遺物番号は挿図中の遺物番号に一致している。表中に使用した記号や略号は各々以下の通りである。
 - ①法量 《土器・石器》口：口縁部直径 底：底部直径 高：器高
胴：胴部最大径
石器の厚さは、おおむね断面実測位置で計測した。
なお、計測値に（ ）を付したものは復元値である。
 - ②色調 陶磁器を除いて土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修を用いて記載した。
5. 土器の「器形・整形の特徴」の記述は、下記の文献における土器の記述に準拠しておこなった。
坂口一・三浦京子1986「奈良・平安時代の土器の編年―住居の重複と共存関係による土器形式組列の検討―」群馬県史研究24号
6. 石器の石材については、飯島静男氏（群馬県地質研究会会員）の分類・同定による。

目次

1. 古墳時代の出土遺物(第1分冊補遺)..... 1
2. 歴史時代前半期の出土遺物..... 1

1. 古墳時代の出土遺物

I区40号住居出土遺物観察表〈土器〉第7回

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1312	土師器 埴形土器	口縁部破片 口 (14.8cm)		南東部 床面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	内湾する埴形土器口縁部破片。口縁部内外面に面とり。 外面 口縁部縦方向に面取り。横方向ハメ後、縦方向に面取り。 内面 口縁部横方向に面取り。

I区71号住居出土遺物観察表〈土器〉第8回・PL15

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
989	土師器 鉢形土器	口縁～底部の残存 口 (11.0cm) 高 12.0cm 最 (11.4cm) 底 (5.0cm)		東壁部 床面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	小さな底部から球形胴部、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部縦方向に面取り。体部縦方向に面取り。 内面 口縁部縦方向に面取り。体部縦・横方向に面取り。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区1号住居出土遺物観察表〈土器〉第11回・PL1

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
936	土師器 杯形土器	口縁～底部の残存 口 (12.8cm) 高 3.8cm		埋没土	①細砂・少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。両縁部ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁字ナゲ。
937	土師器 杯形土器	口縁～底部の残存 口 (13.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁字ナゲ。
938	須恵器 杯形土器	口縁～底部の残存 口 (12.4cm) 底 (6.0cm)		埋没土	①細砂・直径3～5mmの小礫を含む。②還元焼。 ③灰N5/	底径が小さく、口縁部が外反する。 外面 回転ナゲ。底部回転糸切り難し未調整。 内面 回転ナゲ。

I区1号住居出土遺物観察表〈石器〉第11回・PL1

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S92	磨石	14.5・5.9 4.5	610	粗粒安山岩	南西寄り 床面上2.5cm	縦長い棒状の磨石の一端に最打痕が認められる。
S93	磨石	11.8・5.8 2.6	333	石英閃緑岩	南壁寄り 床面上3cm	裏面に磨り面があり、平砥になっている。
S94	磨石	13.8・4.6 3.9	396	実質安山岩	埋没土	縦長い棒状の磨石の一端に最打痕がある。
S95	磨石	10.6・6.5 3.1	319	粗粒安山岩	埋没土	やや扁平な円錐の磨石の一端に割られたような最打痕があり、表面には、磨り面が残っている。

I区2号住居出土遺物観察表〈土器〉第12回・PL2

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1208	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 12.1cm 高 3.4cm		南西部 床面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁字ナゲ。
1206	土師器 埴形土器	口縁～体部上の破片 口 (19.0cm)		竈壁部 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が少し直立して上位で外反する。胴部上位に最大径をもつ。 外面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向に面取り。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向に面取り。
1207	土師器 埴形土器	口縁部破片 口 (20.2cm)		竈壁部 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が少し直立して上位で外反する。 外面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向に面取り。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向に面取り。
1209	土師器 杯形土器	口縁～底部の残存 口 (12.8cm) 高 3.4cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	平底のわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部直挿入。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部～底部丁字ナゲ。
1211	須恵器 杯形土器	口縁～底部の残存 口 (12.5cm) 高 3.4cm 底 (8.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	平底の底部からわずかに膨らんで外反する口縁部に至る。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り。 内外面 回転ナゲ調整。
1212	須恵器 埴形土器	口縁～底部の破片 口 (13.8cm)		埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰10Y5/1	低位に丸みをもつ体部から外反する体部に至る。 回転クロコ整形。底部調整には手持ち旋削り残る。 内外面 回転ナゲ調整。

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1210	ロクロ土器部 梨形土器	底部に残存 底(8.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。内肌処理 ③にぶい焼7.5YR6/4	平底の底部から少し膨らんで立ちあがる体部下位が残る。 左回転ロクロ整形。底部は調整面。切り離し技法不明。 外面 回転ナデ調整。内面 横方向細かな調整。

1区6号住居出土遺物観察表(土器)第14図・PL2

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1215	土器部 梨形土器	口縁～体部上位破片		甕内 床面上2.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	丸く外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
1214	土器部 梨形土器	口縁～体部下位残存 口(23.2cm)		南部 床面上19cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/3	中位に膨らみをもつ胴部から短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
1213	土器部 梨形土器	口縁～底部残存 口 22.4cm 高 32.7cm 底 6.0cm		南部 床面上29cm	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向直削り。部分的にナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
1216	土器部 杯形土器	口縁～底部上位残存 口 12.8cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色YR5/6	わずかな丸みから成り体部に至る。口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。胴縁ナデ。一部に彫り状の溝がある。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1217	土器部 杯形土器	口縁～底部残存 口(13.0cm) 高 3.0cm		埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR5/4	内湾する底部・体部から直立する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1218	土器部 梨形土器	口縁～底部破片 口(20.4cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	平底気味の底部から外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1219	須恵器 蓋形土器	口縁～底部破片 口(16.6cm) 底(11.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y7/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、やや内湾気味の口縁部に至る。断面三角形の台高を付す。 口縁部外部に厚1.5mmの沈線がある。内外面とも回転ナデ調整。付高台
1220	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部上位残存 口(15.0cm) 高 3.0cm 底 3.9cm		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y7/1	口縁部の平底気味に引れる。 左回転ロクロ整形。天井部回転削り。 内外面 回転ナデ調整。

1区7号住居出土遺物観察表(土器)第15図・PL3

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
941	土器部 梨形土器	口縁～体部中位残存 口(21.0cm)		甕右袖脇 床面上18cm	①微細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。輪痕も痕現る。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
939	土器部 梨形土器	口縁～体部下位残存 口 24.2cm		甕右袖外部 床面上27cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
940	土器部 梨形土器	口縁～体部中位残存 口(23.4cm)		甕右袖外部 床面上27cm	①微細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。輪痕も痕現る。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
942	土器部 杯形土器	口縁～体部上位残存 口(13.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	内湾する体部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。

1区7号住居出土遺物観察表(石器)第15図・PL3

番号	器種	長さ×幅 厚(㎝)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S96	磁石	5.4×5.2 2.3	磁石	甕西隅 床面上	一端を欠損した磁石の破片。

1区13号住居出土遺物観察表(土器)第17図・PL4

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
945	土器部 杯形土器	完形 口 14.4cm 高 3.8cm		中央やや南寄 床面上直上	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。周縁削ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
944	土器部 杯形土器	完形 口 12.4cm 高 3.3cm		甕内 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4	平底気味の底部から内湾気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。周縁削ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
943	土器部 梨形土器	口縁～体部一部欠割 口(21.8cm) 高 28.9cm 底 5.4cm		貯蔵大甕南寄 甕面下29cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/3	胴部中位にやや膨らみがあり、外反する口縁部に至る。最大径は口縁部 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
946	須恵器 杯形土器	口縁部破片 口(14.0cm)		貯蔵穴 埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y5/1	下位にやや丸みをもって外反する体部。 内外面 回転ナデ調整。

2. 歴史時代前中期の出土遺物

I区13号住居出土遺物観察表(石器)第17回・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 質	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S98	磨石	13.6・5.4 3.0	実質安山岩	22#	埋没土	やや扁平な三角形の断面をもつ棒状。表面に細かい磨り面が残る。

I区20号住居出土遺物観察表(土器)第18回・PL4

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1242	土師器 杯形土器	口縁~底部<残存	口 12.9cm 高 3.3cm	南面 床面上7cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄橙10YR6/4	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下位部ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1243	土師器 杯形土器	口縁~底部<破片	口(12.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	平底気味の底部から内湾気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ調整。
1245	須恵器 杯形土器	底部<破片	高(8.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含むが緻密な 胎土である。②還元焼。 ③灰白5Y8/1	平底からやや丸みをもって外反する体部下位が残っている。 右回転口ロ整形。底部回転糸切り後、周縁のみ回転削り。
1244	須恵器 蓋形土器	天井~口縁部<残存 柄み剥落 径 14.9cm		埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y8/1	水平な天井部からゆるやかに両面する体部。口縁部は直線に折れる。 回転口ロ整形。天井部回転糸切り後、柄み剥落。 外面 天井部回転削り。口縁部横ナデ。 内面 天井部回転によるナデ調整。

I区20号住居出土遺物観察表(石器)第18回・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 質	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S124	磨石	11.9・5.4 4.5	実質安山岩	450	埋没土	断面が丸方形の棒状の半欠。一側面に磨り面が残る。

I区20号住居出土遺物観察表(金属器)第18回・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M7	刀子	7.5横・1.2	鉄	北壁 床面上7cm	両側の刀子。刃部の大半は欠損。葉も先端は折れているが、柄の木質部と環状の金具が残っている。

I区23号住居出土遺物観察表(土器)第19回・PL5

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
947	土師器 壺形土器	口縁部破片	口(21.0cm)	電 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに外反する口縁部破片。 内外面 横ナデ。
949	土師器 杯形土器	口縁~底部<残存	口 10.4cm 高 3.4cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/8	丸底から、口縁部が短く内傾する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
948	須恵器 蓋形土器	天井部~口縁部<残存	口(19.2cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y8/1	水平な天井部からゆるやかに両面する口縁部に至る。口縁部寄りにお よかな反りが付く。外面 天井部のみ整形後ナデ。口縁部回転ナデ。 内面 回転ナデ。

I区25号住居出土遺物観察表(土器)第20回

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1246	須恵器 杯形土器	体部<~底部残存	口(12.2cm) 高 3.9cm	電 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰10Y6/1	やや小さい平底から、直線的に外反する。 外面 体部回転ナデ調整。底部左回転口ロ切り磨し。 内面 回転ナデ調整。
1247	須恵器 蓋形土器	破片	口(18.4cm) 高 3.0cm 横 6.4cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y8/1	天井部から緩やかに屈曲して口縁部に至る。 右回転口ロ整形。切り磨し技法不明。 外面 回転削り。環状の柄みがつく。内面 回転ナデ調整。

I区25号住居出土遺物観察表(石器)第20回・PL5

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 質	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S125	磨石	7.3・9.9 3.0	相模安山岩	340	埋没土	断面が扁平な円錐の平凸面。表面に比較的大きな粗粒面が残る。

I区29号住居出土遺物観察表(土器)第23回・PL6

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
654	土師器 壺形土器	口縁~体部<中位残存	口 22.6cm	電 左袖	①微細砂・白色細砂を多く 含む。②酸化焼。 ③にぶい橙5YR6/4	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。

遺物観察表

(1区29号住居)

番号	器種	形状	寸法	存在	出土位置	①胎土 ②胎色 ③色調	器形・胎形の特徴
465	土師器 埴形土師	口縁～体部上位残存	□ 20.6cm	電石軸	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶ-橙7.5YR/4	膨らみをもたない割縁上位から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り後、中位縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。	
463	土師器 埴形土師	球状成形	□ 22.0cm 高 33.4cm 底 4.6cm	電氣口部天井 灰面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR/6/6	中位よりやや上に膨らみをもつ割部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。	
466	土師器 埴形土師	口縁～体部下位残存	□ 16.6cm	電氣口部天井 灰面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR/6/6	球形の割部から、ゆるやかに短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。割部ナデ。体部上位横方向削削り後、中位～下位 斜方向削削り。下位には部分的に縦方向ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。	
467	土師器 埴形土師	口縁～体部下位残存	□ 18.4cm	電氣口部天井 灰面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	中位よりやや下に膨らみをもつ割部から短く外反する口縁部に至る。小 形の壺形土師。外面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向削削り。	
468	土師器 埴形土師	口縁～底部残存	□ (12.4cm)	埋設土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR/7/6	底部が両面して、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。	
470	土師器 埴形土師	口縁部破片	□ (15.0cm)	埋設土	①微細砂をわずかに含むが微 量な胎土。②酸化焼。 ③にぶ-橙7.5YR/6/4	口縁部と底部を面する微縁をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。	
469	土師器 埴形土師	口縁～底部破片	□ (12.4cm)	埋設土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR/6/6	底部が両面して直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。	
471	土師器 埴形土師	口縁部破片	□ (16.0cm)	埋設土	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤7.5YR5/6	尖り気味の丸底から、口縁部が短く内傾する。大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。体部上位削削り。下位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。	
473	須恵器 埴形土師	天井部破片 横 (3.5cm)		埋設土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄灰2.5Y6/1	ほぼ水平の天井部。覆土の積みを行す。 内外面 回転ナデ調整。	
475	須恵器 埴形土師	口縁部破片	□ (17.0cm)	埋設土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y6/1	水平に垂れる口縁部。 内外面 回転ナデ調整。	
474	須恵器 台付 埴形土師	底部破片 □ (11.0cm)		埋設土	①細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y8/1	体部下位に丸みを持ち、やや開いた断面三角形の低い高台を付す。 外面 体部下位回転削削り。底部回転削削り。周縁削削り。 付高台。内面 回転ナデ調整。	
472	須恵器 埴形土師	体部下位～底部残存	底 8.5cm	埋設土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	平底から丸みをもった体部下位に至る。 内外面 線粒・刺線が著しく整形が不明。	
476	須恵器 埴形土師	体部中央～底部残存	横 16.2cm	埋設土	①黒色胎物粒・砂粒を含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y6/2	丸底から丸みをもった体部下位に至る。 外面 右回転クロコナデ調整。自然物付着。 内面 回転ナデ調整。	

1区30号住居出土遺物観察表(土器)第25図・PL7

番号	器種	形状	寸法	存在	出土位置	①胎土 ②胎色 ③色調	器形・胎形の特徴
950	土師器 埴形土師	兜形	□ 13.8cm 高 4.0cm	電内	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③橙7.5YR6/6	平底気味の底部から、両面気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。周縁削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。	
952	土師器 埴形土師	口縁～体部上位破片	□ (20.0cm)	西壁土坑9号 床面上14.0cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③橙5YR/6/6	やや膨らみのある割縁上位から丸く外反してやや内湾する口縁部に至る 外面 口縁部横ナデ。割部ナデ。体部縦方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。割部ナデ。体部縦方向削削り。	
956	土師器 埴形土師	球状成形	□ 12.3cm 高 3.2cm	西壁土坑9号 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。周縁削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。	
994	須恵器 埴形土師	口縁部破片	□ (12.4cm)	埋設土	①細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄灰2.5Y6/1	大きく外反する口縁部破片。底部は上方につまみ上げられ縁部外面には 段がでている。 内外面 回転ナデ。	
953	土師器 台付 埴形土師	口縁～体部上位残存	□ (14.0cm)	埋設土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	ゆるやかに外反する台付埴形土師。体部は球形。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。	

1区30号住居出土遺物観察表(石器)第25図・PL7

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	重量 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S100	礫石	6.4 × 4.4	2.7	粗粒安山岩 121	断面横内形の棒状礫の平欠片。小口の端部に縦打痕が残る。

I区34号住居出土遺物観察表(土器)第26図・PL7

番号	器種	残 存 状態	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
960	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	電筒 口 12.4cm 高 3.6cm	甕内 床面直上	①陶砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR4/4	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
961	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (12.0cm) 高 4.5cm	甕内 床面直上	①陶砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい焼7.5YR6/4	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
962	土師器 盤形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 15.8cm 高 3.5cm	甕内 床面直上	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	体部の弱い縁線から、外折する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
963	須恵器 甕形土器	口縁~天井部の残存	電筒 口 (18.6cm)	甕内 床面直上	①陶器白土質胎土・砂粒を含む。 ②還元焼。 ③灰NS/3	丸みをもつ天井部から、少し傾けて下方に開く口縁部に至る。内面にほぼほぼを付す。 外面 回転ナデ調整。内面 口縁部横ナデ。天井部手持りナデ。
964	土師器 土台 甕形土器	体部下位~台座残存	甕内 高 12.8cm	甕石桶脇 床面直上3cm	①陶砂・砂粒を多量に含む。 ②酸化焼。 ③におい焼7.5YR6/3	強く下方に開く台付甕形土器の台座。 外面 体部縦方向内折ナデ。台座上半縦方向内折ナデ。下半横ナデ。 内面 体部横ナデ。台座上半横方向内折ナデ。下半横ナデ。
965	土師器 甕形土器	口縁~体部中央の残存	電筒 口 20.3cm	甕内 床面直上3.5cm	①陶砂・砂粒を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼10YR5/6	膨らみをもたないやや上方に開く胴部からわずかに外反する口縁に至る 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。
969	土師器 土台 甕形土器	台座の残存	甕内 高 (11.0cm)	埋没土	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③灰焼7.5YR4/2	ハの字状に下方に開く台付甕形土器の台座。 外面 体部縦方向内折ナデ。台座上半縦方向内折ナデ。下半横ナデ。 内面 体部横ナデ。台座上半横・斜方向内折ナデ。下半横ナデ。

I区34号住居出土遺物観察表(石器)第26図・PL7

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S181	磨石	6.8 × 4.2 2.9	125	凝灰石	北壁際 床面直上	小形の凝石の平尺品。
S182	磨石・磨石	10.5 × 7.5 2.4	202	粗粒安山岩	北壁寄り 床面直上	偏平な内側の表面面に磨り面が残る。また一側面に磨打痕がみられる。

I区44号住居出土遺物観察表(土器)第28図・PL8

番号	器種	残 存 状態	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
765	土師器 土台 甕形土器	口縁~体部下位の残存	甕内 口 12.4cm	甕内 床面直上3cm	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい焼5YR6/4	小形の縁部の割部から、やや高く直立気味に外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。輪縁み既残。体部縦方向内折ナデ。下半には縦方向内折ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。上位は指ナデ。
764	土師器 甕形土器	口縁~体部上位の残存	甕内 口 (24.0cm)	中央西壁寄り 床面直上4.5cm	①陶砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼6YR5/8	球部の割部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。
768	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (12.8cm)	中央西壁寄り 床面直上6cm	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼6YR5/6	両曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
769	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (11.4cm) 高 3.2cm	西壁際 床面直上8.5cm	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼6YR5/8	両曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
777	須恵器 甕形土器	口縁部破片	甕内 口 (18.0cm)	中央壁寄り 床面直上11cm	①白色胎土質胎土を多く含む。 ②還元焼。 ③焼7.5Y6/1	扁平な天井部から、水平な口縁部に至る。裏りが付くが下方へ垂れる。 外面 回転ナデ調整。自然磨付。 内面 回転ナデ調整。
766	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (13.4cm) 高 4.0cm	中央 床面直上12.5cm	①陶砂・砂粒を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	両曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 底部既削り。体部横ナデ。口縁部横ナデ。 内面 底部一体部ナデ調整。口縁部横ナデ。
767	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (13.0cm)	中央 床面直上12.5cm	①陶砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
770	須恵器 杯形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 (13.0cm)	中央 床面直上15.5cm	①陶砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰焼6YR5/2	両曲する底部から、高く、やや外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。
763	土師器 甕形土器	体部欠損	甕内 口 20.8cm 高 25.8cm 底 4.7cm	甕内	①砂粒・小粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい焼10YR7/4	胴部中央に膨らみもち短く外反する口縁部に至る。小形の甕形土器。 外面 口縁部横ナデ。輪縁み既残。体部縦方向内折ナデ。下位の縦方向内折ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。
762	土師器 甕形土器	口縁~底部の残存	甕内 口 21.5cm 高 31.5cm 底 3.7cm	甕内	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/5	中位よりやや上に膨らみをもつ割部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦・斜方向内折ナデ。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向内折ナデ。
772	土師器 甕形土器	口縁~底部の残存	埋没土 口 (18.3cm) 高 4.7cm	埋没土	①陶砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	体部の弱い縁線から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
773	土師器 杯形土器	口縁~底部の残存	埋没土 口 (12.8cm) 高 4.0cm	埋没土	①陶砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	両曲する底部から、やや内折する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

遺物観察表

(1区44号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
774	土師器 甕形土器	口縁～底部に残存 口 (16.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/6	体部の弱い輪縁から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
775	土師器 甕形土器	口縁～底部に残存 口 (16.8cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/8	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
771	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (16.2cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/2	丸底気味の底部から外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部同転ナダ。底部手持り直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部～底部同転ナダ。
779	須恵器 蓋形土器	胴～口縁部に残存 口 14.7cm 高 2.8cm 胴 4.6cm		埋没土	①微細砂をごく少量含む。 ②還元焼。 ③灰10Y6/1	やや丸みをもつ天井部から少し括れて下方に開く口縁部に至る。ボタン状の隅みを付す。 外面 縁面～口縁部同転ナダ。中位は同転直削り 内面 天井部～口縁部同転ナダ。
776	須恵器 蓋形土器	胴～口縁部に残存 口 16.4cm 高 2.8cm 胴 4.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。③(外)灰7.5Y5/1 (内)灰褐7.5Y4/2	やや丸い天井部から垂直に垂れる口縁部に至る。宝珠形の隅みを付す。 外面 口縁部横ナダ。天井部同転直削り。隅み部ナダ。 内面 口縁部横ナダ。天井部同転ナダ。
778	須恵器 椀形土器	口縁部破片 口 (11.4cm)		埋没土	①微細砂・白色胎物粒を含む ②還元焼。 ③暗オリーブ灰5Y5/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から外反気味の口縁部に至る。 内外面 同転ナダ調整。

1区47号住居出土遺物観察表(土器)第29回・PL10

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
965	土師器 杯形土器	完形 口 19.0cm 高 3.2cm		北西隅 床面上5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/8	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
968	土師器 甕形土器	口縁部欠損 口 16.6cm 高 3.7cm		東石地 床面上3.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐7.5YR5/4	体部のごく弱い輪縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
967	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 12.8cm 高 3.3cm		南壁寄り 床面上6.3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐5YR5/4	両曲する底部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。周縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
966	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 14.3cm 高 3.7cm		南西部 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/8	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。周縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
969	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (14.8cm) 高 3.7cm		東北隅 床面上9cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/6	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。周縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
970	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 18.0cm 高 6.0cm		東壁端 床面上13cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR7/6	両曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。大形の杯形土器。 外面 口縁部横ナダ。体部～底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
964	土師器 甕形土器	口縁～体部上位に残存 口 (11.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	縁部の割部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部上位斜方直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上位斜方直削りナダ。

1区47号住居出土遺物観察表(石器)第29回・PL10

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S104	磨石	11.9 × 6.5 3.3	相模安山岩	埋没土	やや扁平な円盤の表面面に磨り面が残る。

1区49号住居出土遺物観察表(土器)第30回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
568	土師器 甕形土器	口縁～体部上位に残存 口 (20.0cm)		東壁端 床面上5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/6	裾らみをもたない胴部から外反する口縁部に至る。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナダ。体部上位斜方直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上位斜方直削りナダ。
569	土師器 甕形土器	口縁～底部に残存 口 (16.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐7.5YR5/4	体部の弱い輪縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部斜方直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ調整。
570	土師器 甕形土器	口縁～底部に残存 口 (15.6cm)		埋没土	①細砂・砂粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/8	やや深い体部の弱い輪縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部斜方直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ調整。
571	土師器 甕形土器	口縁～体部破片 口 (17.0cm)		埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③暗赤褐色5YR5/6	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部直削り直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部丁寧ナダ調整。
572	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (12.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ調整。

I 区52号住居出土遺物観察表(土器)第31回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
950	直形器 蓋形土器	口縁部破片 口(20.0cm)		埋没土	①微細砂・黒色粘物陶細粒を含む。②還元焼。 ③灰N5/	水平に近い天井部から、外方へ開く口縁部に至る。返りはない。 内外面 回転ナゲ調整。
951	直形器 壺形土器	体部上位破片		埋没土	①粗砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	肩の裏面壺形土器の肩部破片。 外面 肩部端に2条の波線が回りその間に磨砕状工具による刻痕。 内面 回転ナゲ。

I 区55号住居出土遺物観察表(土器)第32回・PL11

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1259	直形器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 13.3cm 高 3.8cm 底 8.6cm		甕前 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5Y5/1	体部下位にやや膨らみをもって外反する。 右回転クワロ整形。底部回転糸切り跡し、周縁回転痕有り。 内外面 回転によるナゲ調整。
1258	土師器 杯形土器	底部一部欠損 口 12.5cm 高 4.1cm		甕前 床面直上2.5cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰5Y2b/6	平底気味の底部から、両面気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
1261	直形器 直形土器	口縁部欠損 口 19.1cm 高 4.6cm 脚 5.2cm 底 18.6cm		甕前 床面直上3.5cm	①粗砂と小礫を少量含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	流線的な体部から、内傾する口縁部に至る。 右回転クワロ整形。天井部回転糸切り跡し、換み粘付。 外面 天井部回転痕有り。口縁部横ナゲ。 内面 天井部回転によるナゲ。口縁部横ナゲ。
1260	直形器 杯形土器	口縁部一部欠損 口(13.2cm) 高 3.1cm 底 6.7cm		南西壁際 床面直上7.5cm	①細砂・微細砂と少量の小礫を含む。②還元焼。 ③灰N5/	平底の底部から、わずかな膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部一部回転ナゲ調整。底部右回転痕有り。切り離し技法不備。 内面 口縁部一部回転ナゲ調整。
1257	土師器 壺形土器	口縁部一部中位残存 口 21.0cm		中央部南東壁 床面直上13cm	①微細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③灰黄7.5YR6/6	口縁部が一直立して上位で外反する。最大径を胴部上位にもつ。 外面 口縁部横ナゲ。体部下位斜方向直削り。中位斜方向直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。
1262	直形器 杯形土器	底部残存 高 7.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/1	体部の立ち上がり部分に直削りを施す。 右回転クワロ整形。底部一部回転痕有り。 内外面 回転ナゲ調整。

I 区55号住居出土遺物観察表(石器)第32回・PL11

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S126	砥石	13.9 × 5.4 2.5	珪質頁岩 420	埋没土	棒状物の一面を利用して、砥石として使用したものとみられる。
S127	砥石	14.1 × 6.7 5.4	粗粒安山岩 950	埋没土	前面が隅丸三角形を呈する棒状物。小口片面に磨打痕を残す。

I 区57号住居出土遺物観察表(土器)第37回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1263	土師器 杯形土器	口縁部一部残存 口(13.6cm)		北東隅 床面直上7.6cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③黄7.5YR4/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部指ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部一部丁寧ナゲ。
1365	直形器 杯形土器	底部破片 高(9.0cm)		埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③灰10Y5/1	平底の底部から、わずかに膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クワロ整形。底部・体部下位回転痕有り。 内外面 回転ナゲ調整。
1264	直形器 高台付 碗形土器	高部残存 高(7.1cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	口径が大きく、体部下位にわずかに膨らみをもつ。 右回転クワロ整形。底部回転痕有り後、付高台。 内外面 回転ナゲ調整。

I 区58号住居出土遺物観察表(土器)第35・36回・PL12

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
808	土師器 土師土器	完形 口 14.0cm 高 3.8cm		甕前 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄7.5YR6/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
806	土師器 壺形土器	体部下位一部残存 高 6.5cm 孔 2.5cm		P2 床面直上	①微細砂・赤母焼を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白・黄5YR6/4	平底の中央に一孔を穿つ。 外面 体部斜方向直削り。底部ナゲ。 内面 斜・横方向直削り。
807	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 13.2cm 高 3.3cm		南東隅 床面直上4cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄7.5YR6/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部丁寧ナゲ。
812	土師器 杯形土器	口縁部一部残存 口(17.8cm) 高 4.5cm		甕内 床面直上4.5cm	①粗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白・黄5YR6/4	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。下部指ナゲ。底部丁寧ナゲ。
802	土師器 壺形土器	口縁部一部中位残存 口(24.7cm)		甕内 床面直上4.5cm	①白色粘物・砂粒を多量に含む。②還元焼。 ③黄黄10YR5/6	膨らみをもたない胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。

遺物観察表

(1区58号住居)

番号	部 類	検 法	存 尺	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	口 縁 ・ 装 形 の 特 徴
803	土師器 甕形土器	口縁～体部に焼成残存 口 (24.4cm)		堀内 灰面上4.5cm	①胎砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7YR5/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部破片ナ。輪痕み痕が顕著に残る。体部上辺方向直削り。 内面 口縁部破片ナ。輪痕み痕が一部に残る。
804	土師器 土師器	体部下半～底部に焼成残存 底 6.6cm		堀内 灰面上4.5cm	①胎砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	高脚の甕形土器の胴部下半。 外面 体部下半～斜方向直削り。 内面 体部下半方向直削りナ。
805	土師器 甕形土器	体部下位～底部に焼成残存 底 (5.4cm)		堀内 灰面上4.5cm	①胎砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色10YR5/4	胴部中に彫込みがあると思われる甕形土器胴部下半。 外面 体部斜～斜方向直削り。底部直削り。 内面 体部底部方向直削りナ。底部直削りナ。
810	土師器 甕形土器	胴部～体部中位破片 最 (20.8cm)		堀内 灰面上4.5cm	①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色10YR5/4	上位に彫込みのある胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 胴部破片ナ。体部上半部方向直削り。下半部方向直削り。 内面 胴部破片ナ。底部直削りナ。
809	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (12.2cm) 高 3.1cm	南壁 床面上6.5cm		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
808	須恵器 高脚甕形土器	杯～脚台接合部破片	中央部 灰面上7cm		①胎砂を多く含む。黒色鉱物粒が目立つ。急須元焼。 ②焼7.5Y5/1	両面して鋭く、高脚の脚台部破片。 内外面 回転ナ調整。
825	須恵器 甕形土器	胴～口縁部に焼成残存 口 (14.6cm) 高 2.9cm 底 5.0cm	南東隅 灰面上8.5cm		①胎砂・小塵を含む。 ②還元焼。 ③焼5Y6/1	水平な天井部から胴やかに両面する口縁部に至り口縁部が両面に折れる。 外面 口縁部破片ナ。天井部回転直削り。 内面 口縁部破片ナ。天井部回転ナ調整。
813	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (14.8cm)	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色7.5YR5/4	平直気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り後、周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
814	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 13.7cm 高 4.1cm	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
815	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 12.0cm 高 3.5cm	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色5YR6/4	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
816	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (13.8cm) 高 3.8cm	埋没土		①胎砂・小塵を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色5YR6/4	平直気味の底部から、両面気味の体部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。指押え。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
818	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (13.4cm)	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
819	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (14.0cm)	埋没土		①胎砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
820	土師器 甕形土器	口縁～底部破片 口 (15.8cm)	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色7.5YR6/3	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
821	土師器 甕形土器	胴～底部に破片 口 (13.2cm) 高 3.2cm	埋没土		①胎砂・灰石粒を含む。 ②酸化焼。やや軟質。 ③赤褐色5YR6/4	平直気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。体部輪痕が著しく彫削り不明。 内面 口縁部破片ナ。体部ナ。
822	土師器 甕形土器	胴～底部に焼成残存 口 (15.6cm)	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	両面する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り。周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
823	土師器 甕形土器	胴～底部に焼成残存 口 (17.4cm)	埋没土		①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	平直気味の底部から、両面気味の体部に至る。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り後、周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
824	土師器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (14.2cm) 高 3.6cm	埋没土		①胎砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	体部と底部を両す接線をもつ。 外面 口縁部破片ナ。底部直削り後、周縁直削りナ。 内面 口縁部破片ナ。底部直削りナ。
827	須恵器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (13.0cm) 高 3.5cm 底 9.0cm	埋没土		①胎砂・黒色鉱物粒を含む。急須元焼。 ②焼5Y5/1	やや厚い底面から、外反する体部に至る。体部下位に回転直削り。 外面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部直削り後、右回転直削り。 内面 口縁部破片ナ。体部～底部回転ナ。
828	須恵器 甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (13.6cm) 高 3.5cm	埋没土		①胎砂を含む。 ②還元焼。 ③赤N6	やや厚い底面から、外反する体部に至る。体部下位に回転直削り。 外面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部右回転直削り。 内面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部回転ナ。
829	須恵器 甕形土器	胴～底部に破片 口 (14.6cm) 高 3.8cm	埋没土		①胎砂を含む。 ②還元焼。軟質。 ③焼10YR4/1	底部からやや両面する体部に至る。体部下位に回転直削り。 外面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部右回転直削り。 内面 口縁部破片ナ。体部～底部回転ナ調整。
830	須恵器 高脚甕形土器	胴～口縁部破片 口 (15.2cm) 高 2.4cm 脚 4.4cm	埋没土		①胎砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③焼10Y5/1	水平な天井部から、ゆるやかに両面する口縁部に至る。つまみ出した短い鋭い高りが付く。 内外面 回転ナ。
826	須恵器 高脚甕形土器	口縁～底部に焼成残存 口 (17.2cm) 高 6.2cm 底 11.5cm	埋没土		①胎砂を含む。 ②還元焼。 ③焼7.5Y5/1	下位におよび丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。 外面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部回転直削り後、回転直削り。付高台。 内面 口縁部破片ナ。体部回転ナ。底部回転ナ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
817	土師器 甕形土器	口縁～底部破片 口 (29.2cm) 高 3.5cm		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③に赤い斑5YR6/3	平底梨味の底部から、外反する口縁部に至る。 ④縁部横ナデ。底部既削り。厚料が著しく、単位・方向不明。 ⑤内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。 ⑥球形の胴部をもつ指定される甕形土器の外反する口縁部。 ⑦外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。 ⑧内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。
811	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (17.4cm)		埋没土	①細砂・雲母細片を含む。 ②酸化焼。 ③に赤い斑5YR7/4	平底梨味の底部から、外反する口縁部に至る。 ④縁部横ナデ。底部既削り。厚料が著しく、単位・方向不明。 ⑤内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。 ⑥球形の胴部をもつ指定される甕形土器の外反する口縁部。 ⑦外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。 ⑧内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。

1区58号住居出土遺物観察表(石器)第35・36図・PL12

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 材重 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S77	磨石	3.1・2.7 0.6	磨石山背岩 9	埋没土	薄く扁平な小形円形の石。両面ともよく磨かれている。磨石と考えられる。
S83	磨石	12.7・6.1 2.7	粗粒安山岩 337	埋没土	前面が扁平な楕円形を呈する棒状碑。片面に磨り面が残る。
S84	磨石	14.4・7.1 5.0	粗粒安山岩 810	埋没土	前面が楕円形を呈する棒状碑。小口の両端に小さな敲打痕が残る。

1区61号住居出土遺物観察表(土器)第39図・PL13

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1274	直取甕 杵形土器	口縁部一部欠損 口 12.8cm 高 3.8cm 底 6.5cm		南壁部 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③赤5Y6/1	胴径が小さく、上げ梨味の底部から下位に膨らみをもつて外反する。右回転口コトコ型。回転軸未削り。内外面 回転ナデ調整。
1266	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 20.3cm		南西部 床面直上	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③赤5YR6/6	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。下半部方向既削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。
1270	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (12.0cm)		南壁部 床面上2.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤5YR7/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。小形の甕形土器。外面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。
1268	土師器 甕形土器	口縁～体部中部破片 口 (21.6cm)		中央部南東寄 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤6.5YR5/8	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。
1269	土師器 甕形土器	口縁～体部破片 口 (24.0cm)		中央部南東寄 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ④暗7.5YR6/6	短くゆるやかに外反する口縁部破片。外面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向既削り。
1272	直取甕 杵形土器	口縁部～底部残存 口 (12.4cm) 高 3.5cm 底 7.5cm		南東部 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③赤5Y6/1	やや小さい底部から下位に膨らみをもつて、外反する体部に至る。右回転口コトコ型。底部回転軸未削り後、周縁のみ回転既削り。内外面 回転によるナデ調整。
1271	直取甕 高台付 甕形土器	口縁部一部・高台部欠損 口 12.4cm		東部 床面上5cm	①微細砂・小砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y7/1	平底から、下位にやや膨らみをもつて外反する体部に至る。右回転口コトコ型。底部回転軸未削り。高台は割れている。内外面 回転ナデ調整。
1273	直取甕 杵形土器	底部部残存 底 (7.6cm)		南東部 床面上5.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③赤N5/	比較的広い底部破片。右回転口コトコ型。底部回転軸未削り後、周縁のみ回転既削り。内外面 回転ナデ調整。
1267	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (21.6cm)		東部 床面上5.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③暗7.5YR6/6	膨らみのない胴部から、短く外反する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向既削り。

1区61号住居出土遺物観察表(石器)第39図・PL13

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 材重 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S128	磨石	12.8・6.2 3.5	粗粒安山岩 289	埋没土	前面楕円形を呈する棒状碑。片側に敲打痕を残す。

1区63号住居出土遺物観察表(土器)第40図・PL15

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
971	土師器 杵形土器	完形 口 11.0cm 高 3.6cm		南壁部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤6.5YR5/8	両面より底部から、短く内湾する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁横ナデ。内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
972	土師器 杵形土器	口縁～底部部残存 口 12.4cm 高 4.5cm		南壁部 床面上11.5cm	①微細砂と少量の小砂を含む ②酸化焼。 ③暗5YR6/6	丸底で内湾する体部に至る。外面 口縁部横ナデ。底部既削り。周縁横ナデ。内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
973	土師器 杵形土器	口縁～底部部残存 口 (13.0cm)		埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③暗5YR6/8	両面より底部から、短く直立する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。底部既削り後、周縁横ナデ。内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

遺物観察表

1区64号住居出土遺物観察表(土器)第41図・PL15

番号	器種	形状	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形の特徴
1282	土師器 杯形土器	兜形 口 10.0cm 高 3.5cm			南壁際 床面直上	①微細砂を少量含むが精密な胎土。②焼化肌。 ③焼5YR6/6	両肩する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
1281	土師器 杯形土器	口縁～底部一部欠損 口 10.8cm 高 3.5cm			南部 床面直上3.5cm	①微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	両肩する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
1283	須恵陶 杯形土器	底部欠残存 底 (7.5cm)			埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③焼7.5YS/7	器内の張り縁部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 体部回転ナゲ調整。底部横ナゲ。 内面 回転ナゲ調整。

1区69号住居出土遺物観察表(土器)第43図・PL14

番号	器種	形状	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形の特徴
982	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 11.0cm 高 3.0cm			南壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	両肩する底部から、直立する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
983	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 (13.0cm) 高 4.4cm			南東隅 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	わずかな底面から、浅く体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指押え。指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
987	須恵陶 壺形土器	体部中位～高台部欠残存 口径 (21.0cm) 底 (12.0cm)			南部 床面直上	①微細黒色胎土を含む。 ②還元肌。 ③焼6Y6/1	直線的に立ち上がる体部下位。断面長方形の高台が付く。 外面 体部下位斜ナゲ。下部横方向回転ナゲ。高台接合部横ナゲ。 底部切り直し後、回転削り。内面 体部回転ナゲ調整。
988	須恵陶 壺形土器	口縁～体部下位欠残存 口 (10.0cm) 底 (20.0cm)			南部 床面直上	①微細黒色胎土を多く含む。 ②還元肌。 ③焼6Y6/1	丸みのある体部上位から、短く直立する口縁部に至る。 内面 回転ナゲ調整。
986	土師器 台付 壺形土器	右部のみ残存 底 10.0cm			南壁際 床面直上	①粗砂を多量に含む。 ②焼化肌。 ③焼7.5YR6/6	瓶く下方に開く台付壺形土器台部。 外面 台部上平縁方向削り。下平縁ナゲ。 内面 台部上平縁方向削りナゲ。下平縁ナゲ。体部指ナゲ。
981	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 (13.0cm)			南壁際 床面直上4cm	①細砂・微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼7.5YR6/6	平底気味の器部から、両曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り後、周縁指押え。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
984	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 12.8cm			南東隅 床面直上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②焼化肌。 ③にぶい焼褐色10YR5/3	丸底の器部から、口縁部が短く内傾する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
974	土師器 壺形土器	口縁～体部下位 口 (23.2cm)			南東隅 床面直上4.5cm	①粗砂・小礫を多く含む。 ②焼化肌。 ③にぶい焼2.5Y6/4	胴部中位にやや膨らみをもち、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。輪縁み成残存。体部縦方向削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部縦方向削りナゲ。
973	土師器 壺形土器	口縁～体部上位欠残存 口 (20.2cm)			中央やや西の方 床面直上4.5cm	①粗砂を多量に含む。 ②焼化肌。 ③にぶい焼褐色10YR6/4	ほとんど張り込みをもたない胴部上位から、短く外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向削りナゲ。
978	土師器 杯形土器	球状兜形 口 13.0cm 高 3.6cm			南壁際 床面直上7.5cm	①微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
979	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 14.8cm 高 4.2cm			南壁際 床面直上11cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②焼化肌。 ③にぶい焼2.5YR6/6	平底気味の器部から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
980	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 (13.0cm) 高 3.6cm			南壁際 床面直上13cm	①微細砂を多く含む。 ②焼化肌。 ③焼7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。周縁指ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
986	土師器 杯形土器	口縁～底部欠残存 口 (13.4cm)			埋没土	①微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	突り気味に両肩する器部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ調整。
1153	土師器 杯形土器	底部破片			埋没土	①微細砂を含む。 ②焼化肌。 ③明焼7.5YS/6	丸底気味の杯形土器の底部破片。 外面 底部直削り。ほぼ中央に溝痕あり。 内面 丁寧ナゲ。

1区69号住居出土遺物観察表(石器)第43図・PL14

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質 長さ (R)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S106	磁石	2.7・2.6 2.4	磁石 30	埋没土	2.9cm立方のサイロ状に包まれた磁石。

1区75号住居出土遺物観察表(土器)第44図

番号	器種	形状	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形の特徴
1284	土師器 壺形土器	口縁～底部破片 口 (18.2cm)			東壁際 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②焼化肌。 ③焼5YR6/6	平底気味の器部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区8号土坑出土遺物観察表〈土器〉第45図

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1154	土師器 杯形土器	口縁部に残存	口 (13.0cm)	埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③に濃いSR6/4	浅い体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部直ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁字ナデ。
1155	土師器 杯形土器	底部破片		埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③に濃いSR6/4	湾曲する底部破片。 外面 底部直ナデ。 内面 底部丁字ナデ前後、刻畫。

I区9号土坑出土遺物観察表〈土器〉第45図

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1285	土師器 杯形土器	口縁部破片	口 (15.6cm)	埋没土	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③SR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁字ナデ。

I区60号土坑出土遺物観察表〈土器〉第45図・PL15

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
990	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (17.8cm) 高 6.0cm	中央部凹み 底面直上	①黒細砂をごく少量含む。 ②煮、酸化焼。 ③SR6/8	深い丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部→底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁字ナデ。
991	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (12.6cm) 高 3.5cm	中央部凹み 底面直上	①黒細砂・黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.SR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
992	土師器 盤形土器	口縁→底部に残存	口 (15.8cm) 高 4.0cm	中央部凹み 底面直上	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③SR6/6	平底気味の底面から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
614	土師器 盤形土器	口縁→底部に残存	口 (17.5cm) 高 4.8cm	埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.SR5/6	体部の弱い傾斜から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
993	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (15.0cm) 高 4.5cm	埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.SR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。

I区35号土坑出土遺物観察表〈土器〉第47図・PL18

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1163	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (12.8cm) 高 3.1cm	埋没土	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③SR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1169	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 11.2cm 高 3.3cm	埋没土	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③SR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1171	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (11.3cm) 高 3.1cm	埋没土	①黒細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③SR7/8	湾曲する底部から、短くやや内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1179	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (12.0cm) 高 3.4cm	埋没土	①黒細砂・細砂と小礫を含む。 ②酸化焼。 ③SR7.SR7/6	湾曲する底部から、短くやや内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1167	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 12.0cm 高 3.3cm	埋没土	①黒細砂・細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.SR5/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1181	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (12.6cm) 高 3.2cm	埋没土	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③SR7/6	湾曲する底部から、短くやや内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1183	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 (13.5cm) 高 3.8cm	埋没土	①黒細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③SR7.SR6/6	湾曲する底部から、短くやや内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1161	土師器 杯形土器	口縁→底部に残存	口 11.8cm 高 3.6cm	埋没土	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③SR6/6	丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。
1176	土師器 杯形土器	口縁部欠損	口 (12.7cm) 高 4.1cm	埋没土	①黒細砂を少量含むが緻密な胎土。②酸化焼。 ③SR6/6	丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半→底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁字ナデ。
1177	土師器 杯形土器	口縁→底部破片	口 (12.6cm)	埋没土	①黒細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.SR5/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半斜方向直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁字ナデ。
1184	土師器 杯形土器	口縁部欠損	口 12.0cm 高 3.7cm	埋没土	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.SR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁字ナデ。

遺物観察表

(1区35号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・胎土の特徴
1178	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 13.1cm 高 3.4cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1166	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (11.4cm) 高 3.7cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	丸底から、内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁に無調整部残る。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1160	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 11.5cm 高 3.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1180	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 11.6cm 高 3.4cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にふい焼7.5YR5/4	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1168	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (12.0cm) 高 3.8cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にふい焼7.5YR7/4	丸底から、内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部～底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1172	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 11.0cm 高 3.6cm		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1165	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 11.3cm 高 4.4cm		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1182	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (5.9cm) 高 3.0cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	内湾する体部から、外気乾燥の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ。下位～底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1162	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 12.8cm 高 4.0cm		埋没土	①細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	湾曲する底部から、短く内湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1184	土師器 杯形土器	口縁～体部下位に残存 口 (16.0cm)		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	深い丸底から、短く内湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上平ナデ。下平縁方内湾指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1159	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (16.2cm) 高 4.9cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁に無調整部残る。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1170	土師器 杯形土器	口縁～体部に残存 口 (16.4cm)		埋没土	①微細砂を含むが顕著な胎土。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸底・内湾する体部から、やや内湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部縁方内湾指ナデ。底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1185	土師器 壺形土器	口縁～底部に残存 口 (18.0cm) 高 4.5cm		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸底の体部から、外湾気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1186	土師器 壺形土器	口縁～底部に残存 口 20.3cm 高 3.5cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	体部の弱い傾斜から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1187	土師器 壺形土器	口縁～体部に残存 口 (18.2cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	体部の弱い傾斜から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。周縁指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1174	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.4cm)		埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。胎土があるが判定できない。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1173	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (10.8cm)		埋没土	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にふい焼7.5YR7/4	小さく内湾する口縁部破片。 外側 口縁部横ナデ。底部段削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。口縁部下に「★」の刻痕。
1193	須恵器 高台付 椀形土器	体部中位～底部に残存 底 (12.2cm)		埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③(外) 8JY6/7 ④(内) にふい焼10YR6/4	下位におおむね丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面台形の高台を付す。右回転コクロ整形。底部同軸段削り。切り難し技法不明。付高台。 外側 体部同軸段削り。 内側 同軸ナデ調整。
1190	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (11.4cm) 高 3.7cm		埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焼。 ③にふい焼7.5YR5/3	丸底気味の浅底から、外反する体部に至る。 右回転コクロ整形。底部同軸段削り。 内外側 ナデ調整。
1191	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (10.6cm) 高 3.8cm		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③5Y10/6/1	丸底気味の浅底から、外反する体部に至る。 同軸コクロ整形。底部切り難し。手持ち段削り。 内外側 同軸ナデ調整。
1192	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (8.4cm) 高 3.8cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③5Y10/3/1	丸底気味の浅底から、外反する体部に至る。 右回転コクロ整形。底部切り難し。同軸段削り。周縁ナデ。 内外側 同軸ナデ調整。
1189	土師器 壺形土器	口縁～体部上位に残存 口 (10.3cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にふい焼10YR4/3	膨らみをもたない割面から、やや上方に開く口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位段削り。 内側 口縁部横ナデ。体部上位段削り。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区36号土坑出土遺物観察表(土器)第48図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1286	須恵器 高台付 碗形土器	口縁一部欠損 残 (10.0cm)	残存	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰10YR6/1	下位にわずかな欠みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。 内外面 ロクロ調整。底部回転糸切り難し。付高台。

I区36号土坑出土遺物観察表(金属器)第48図・PL18

番号	器種	長さ・幅 (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M78	箸	4.8 × 2.4 1.0	鉄	埋没土	小形の箸。先端の鋭利さはない。

I区37号土坑出土遺物観察表(土器)第49図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
696	土師器 杯形土器	口縁一部欠損 口 (13.0cm)	残存	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向窪削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。
697	土師器 碗形土器	口縁一部欠損 口 (18.0cm)	破片	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5YR6/8	体部の弱い反縁から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部窪削り後、足縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。
698	須恵器 高形土器	口縁部破片 口 (15.6cm)	残存	埋没土	①珪藻物のほとんどない微細な胎土。②還元焼。 ③灰白5Y7/2	浅い体部から、外湾気味の口縁部に至り、口縁部寄りに返りが付く。 内外面 回転ナデ調整。天井部外面のみ手持り窪削り。
699	須恵器 変形土器	底部残存 高 (15.2cm)	残存	埋没土	①微細砂・白色鉱物粒・黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰10Y6/1	平底から外反に立ち上る体部下位。底部外側に浅台の須恵器片付着。 外面 体部丁寧調整。一部に粘土帯残る。下位には自然熱付着。底部不 定方向窪ナデ。内面 体部下位放射状の指ナデ。

I区38号土坑出土遺物観察表(土器)第50図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
791	土師器 杯形土器	口縁一部欠損 口 (14.8cm)	残存	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向窪削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。
793	須恵器 碗形土器	口縁一部欠損 口 (19.1cm) 高 3.6cm	残存	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	やや湾曲する浅い体部から、外反する口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。 内外面とも回転ナデ調整。 表面、付高台。
795	土師器 変形土器	口縁部破片 口 (16.4cm)	残存	埋没土	①細砂・石灰粒と少量の微細砂を含む。②還元焼。 ③灰7.5YR4/3	肩の張る体部から、短く外反し肩部が肥厚する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位部分的に縦方向のハケ目が取込できる。 内面 口縁部上位横ナデ。下位横方向ハケム。体部上位横方向ハケム。

I区45号土坑出土遺物観察表(土器)第51図・PL18

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1301	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 12.6cm 高 3.3cm	残存	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③に少し微5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部窪削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。
1302	須恵器 高台付 碗形土器	口縁一部欠損 口 (19.4cm) 高 7.2cm 高 (12.4cm)	残存	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰10Y6/1	小さな底部から直線的に外反し、細く断面三角形の高台を付す。 石臼衝ロクロ調整。底部回転糸切り難し。付高台。 内外面とも回転ナデ調整。

I区45号土坑出土遺物観察表(金属器)第51図・PL18

番号	器種	長さ・幅 (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M12	不明	4.2 × 4.5 0.3	鉄	埋没土	一部に彫形の外形を残す。板状の鉄製品。全体形状は不明である。

I区52号土坑出土遺物観察表(土器)第52図・PL20

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1430	土師器 杯形土器	口縁一部欠損 口 (12.9cm)	残存	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③微2.5YR6/6	平底の底部から、やや窄らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部窪削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ調整。
1432	土師器 杯形土器	口縁一部欠損 口 (15.0cm)	残存	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③明赤焼5YR5/8	平底の底部から、やや窄らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ調整。 内面 口縁部横ナデ。底部指ナデ調整あり。
1431	土師器 変形土器	口縁一部欠損 口 (16.0cm)	残存	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③微5YR6/6	球面に近い底部から、上方に外反する口縁部に至る。器内が厚い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向窪削り。中位横方向窪削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向窪削り。

遺物観察表

Ⅰ区17号土坑出土遺物観察表(土器)第53回

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
844	土師器 杯形土器	口縁～体部1/4破片 口(12.6cm)高 3.0cm	埋没土		①微細砂・雲母細片・長石粒を含む。②酸化焼。③焼7.5YR6/6	両面する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
845	須恵器 蓋(12.4cm)	底面1/4破片	埋没土		①細砂を多く含む。②還元焼。③灰白10YR7/1	平底の平底磁片。 右回転のクワ形。底部切り離し後、全面回転削り。 内面 回転ナデ調整。
790	土師器 杯形土器	口縁～体部1/4破片 口(17.0cm)	埋没土		①細砂・雲母細片を多く含む。②酸化焼。③②に比べ焼7.5YR6/4	内面する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦・斜方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。焼成後の縦割装記号。
846	須恵器 盤形土器	口縁～底部小破片 口(27.2cm)高 2.6cm	埋没土		①微細砂を多く含む。②還元焼。軟質。③灰白5YR/2	大きな平底の底部から、短く外反する口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。 底部外面回転削削り?

Ⅰ区32号土坑出土遺物観察表(土器)第53回

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
604	土師器 盤形土器	口縁～体部1/10破片 口(26.9cm)	埋没土		①微細砂・雲母細片直径5～8mmの白色鉱物粒を含む。②酸化焼。やや軟質。③焼7.5YR7/6	断面のないと想定される割面から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。

Ⅰ区41号土坑出土遺物観察表(土器)第55回・PL19

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1194	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4破片 口(12.6cm)高 3.8cm	中央やや東寄 底面12cm		①微細砂を多く含む。②酸化焼。③焼7.5YR6/6	内面する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1195	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4破片 口(14.6cm)高 3.7cm	中央やや北寄 底面13cm		①微細砂を多く含む。②酸化焼。③②に比べ焼7.5YR6/6	両面する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1196	土師器 盤形土器	口縁部破片 口(22.6cm)	中央やや北寄 底面13cm		①微細砂を含む。②酸化焼。③明褐色5YR5/8	球形の底部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位置方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位置方向削り。
1429	土師器 盤形土器	口縁～体部上1/3破片 口(23.6cm)	中央やや北寄 底面13cm		①微細砂を多く含む。②酸化焼。③灰焼7.5YR5/2	断面をもたない割面から、上方に傾く口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位置方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦・斜方向削り。
1197	土師器 盤形土器	体部下半1/2破片 口(27.6cm)	中央やや北寄 底面13cm		①微細砂・細砂を多量に含む。②酸化焼。③赤褐色5YR4/6	下方にやや膨らみをもつ割面の下位。 外面 体部下半直削り。 内面 体部下半直削り。
1198	土師器 盤形土器	口縁～底部1/4破片 口(15.4cm)高 4.3cm	北東壁寄り 底面15.5cm		①微細砂・細砂を多く含む。②酸化焼。③焼7.5YR6/6	体部と口縁部を繋げる橋脚をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1199	須恵器 盤形土器	口縁部破片	埋没土		①微細砂を多く含む。②還元焼。③暗K2N2/	外反する口縁部磁片。 内外面 ナデ調整。外面には浅い縦線に区画された波状文が現状に施されている。
1200	須恵器 盤形土器	体部下半破片	埋没土		①細砂・微細砂を含む。②還元焼。③灰白5Y7/1	両面する体部下半の破片。 外面 格子目状ナデを削り。 内面 同心円状ナデを削り。

Ⅰ区41号土坑出土遺物観察表(石器)第55回・PL19

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 産地(産)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S122	磨石 磨石	14.3・9.5 2.6	船越安山岩 400	埋没土	扁平形状を呈すると考えられる薄い板状の石磨。表面には斜方向の磨り面が残り、右側面には縦行によるとみられる浅い溝が1方用と思われる。

Ⅰ区44号土坑出土遺物観察表(土器)第56回・PL20

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
611	土師器 杯形土器	口縁～体部1/4破片 口(18.8cm)	埋没土		①微細砂を含む。②酸化焼。③明焼7.5YR5/6	内面する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部直削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。
612	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4破片 口(13.4cm)	埋没土		①微細砂を含むが緻密な胎土。②酸化焼。③②に比べ焼7.5YR6/4	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 底部直削り。周縁指ナデ。口縁部横ナデ。 内面 底部丁寧ナデ調整。口縁部横ナデ。
609	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/4破片 口(13.6cm)高 4.7cm 底 7.4cm	埋没土		①微細砂・細砂を多く含む。②還元焼。③灰7.5Y6/	下位にやや膨らみをもって外反する体部。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
613	須恵系 蓋形土器	口縁部破片		埋没土	①微細砂を含むが緻密な胎土。②酸化焼。 ③黄褐色10YR5/3	水平の天弁部から、浅い体部に至る。口縁部は丸く、返りはない。 外面 天弁部の一部の片持ち足削りを除き回転ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。
610	須恵系 甕形土器	口縁部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄灰2.5Y5/1	端部が段をもって肥厚する口縁部破片。 内外面 口縁部ナデ調整。

1区47号土坑出土遺物観察表〈土器〉第57図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
619	土師器 盤形土器	口縁～底部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	平気味れの底部から、外周する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
620	土師器 杯形土器	口縁～底部破片		埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	内周する体部から、外周気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
618	須恵系 杯形土器	口縁～底部5/8残存	3.7cm 底(5.0cm)	埋没土	①微細砂・黒色鉱物微粒を含む。 ②還元焼。 ③黄灰2.5Y5/1	平底の底部から、わずかに内周する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部削削り後、回転削削り。 内面 回転ナデ調整。

1区48号土坑出土遺物観察表〈土器〉第58図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
621	土師器 杯形土器	口縁～底部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい褐色5YR5/3	内周する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
622	土師器 杯形土器	口縁～底部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい褐色5YR6/4	直立する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向削削り。周縁のみ指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。
623	須恵系 蓋形土器	口縁部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y8/1	直線的な天弁部から、やや外方に開く口縁部に至る。 内外面 回転ナデ。

2区6号住居出土遺物観察表〈土器〉第60図・PI.21

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
998	土師器 杯形土器	口縁～底部5/8残存	14.4cm 高 4.3cm	南壁際 床面上5.6cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	平底から、わずかに内周する体部に至る。口縁部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。底部中央に「什」(二十)の番書。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
994	土師器 甕形土器	口縁～体部上位5/8残存	21.2cm	東壁際 床面上25.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。
995	土師器 甕形土器	口縁～体部上位5/8残存	22.0cm	東壁際 床面上25.3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	胴部上位に最大径をもつ。口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。
996	土師器 甕形土器	口縁～体部上位5/8残存	29.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削削り。
997	土師器 甕形土器	口縁～体部上位5/8残存	29.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	胴部上位に最大径をもつ。口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削削り。
999	土製品 土器	完形	長さ6.3cm 幅2.5cm 厚さ2.5cm 重さ37g	南西隅P内 床面上1.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい黄褐色10YR7/3	中央部が丸む関節。小口は、直線的に切れている。体部は指頭による整形。孔は直線的にあいている。

2区6号住居出土遺物観察表〈石器〉第60図・PI.21

番号	器種	長さ・幅 (cm)	石 重さ (g)	材 種	出土位置	形状・調整加工の特徴
S107	白石・黒石	21.3・10.1 6.1		粗粒安山岩 1720	埋没土	大形の鎌で、片側面には磨面があり、その周囲の表面には炭化物が付着して黒くなっている。また、小口の片側面には磨打痕が残っている。
S108	黒石	12.7・6.8 5.0		実質安山岩 610	埋没土	断面衝門形の片鎌で、小口片側面に磨打痕が残る。

2区17号住居出土遺物観察表〈土器〉第62図・PI.22

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1009	土師器 杯形土器	口縁～底部5/8残存	13.4cm 高 3.5cm	南壁 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	平気味れの底部から、直立する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削削り。周縁指ナデ。一部指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

遺物観察表

(2区17号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1007	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存	口 13.8cm 高 4.5cm	北東部 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至り、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1005	土師器 杯形土器	ほぼ完成	口 12.0cm 高 3.4cm	南東壁寄り 床面上2cm	①微細砂をごく少量含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	平底気味の底部から、両曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1008	土師器 杯形土器	口縁・底部一部欠損	口 13.2cm 高 3.3cm	中央やや南寄 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する。口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1006	土師器 杯形土器	ほぼ完成	口 13.6cm 高 3.5cm	中央やや北東 床面上4cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	平底気味の底部から両曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1010	須恵器 杯形土器	ほぼ完成	口 12.8cm 高 3.7cm 底 8.7cm	東部 床面上5cm	①微細砂・黒色炭粉粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y5/1	平底から直線的に外反する。 外面 口縁部~体部回転ナデ。体部下位~底部手持ち直削り後、部分的にナデ。内面 回転ナデ調整。
1004	土師器 杯形土器	ほぼ完成	口 12.4cm 高 3.4cm	中央やや南寄 床面上6cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1001	土師器 甕形土器	体部一部欠損	口 20.6cm 高 28.0cm 底 4.9cm	南東壁寄り 床面直上	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	最大径は胴部上位にあり丸く削削している。口縁部はゆるやかに外反 外面 口縁部横ナデ。体部上位方向直削り、中位~下位斜方向直削り 底部直削り。内面 口縁部横ナデ。体部上位方向直削り。
1000	土師器 甕形土器	口縁~底部一部欠損	口 21.0cm 高 29.5cm 底 6.0cm	西部 床面上2.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③灰焼7.5YR5/2	胴上位に膨らみがある。最大径は口縁部にある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。底部直削り。
1002	土師器 甕形土器	口縁~体部中位残存	口 24.0cm 高 30.0cm	中央やや南寄 床面上3.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	球形胴部から、一旦上方に立ち上がってから外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上位方向直削り、中位斜方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位方向直削り。
1003	土師器 甕形土器	体部下位に残存	口 5.6cm	中央やや南寄 床面上3.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼7.5YR5/6	胴部下に膨らみのある甕形土器の体部下下。 外面 体部下半斜方向直削り。底部直削り。 内面 体部下半横方向直削り。
1011	須恵器 杯形土器	口縁~底部に残存	口 14.0cm 高 4.6cm 底 (9.0cm)	埋没土	①黒色炭粉粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰 N6/	平底から体部下位にわずかな膨らみをもって外反する。 内外面 ナデ調整。底部外面整形は、単純著しく不明。

2区22号住居出土遺物観察表(土器) 第63区・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1012	土師器 杯形土器	ほぼ完成	口 12.8cm 高 3.3cm	東壁部 床面上8.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR6/4	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1013	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存	口 13.2cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR6/4	平底気味の底部から、両曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部中央部直削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ調整。

2区22号住居出土遺物観察表(石器) 第63区・PL23

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 量(g)	材 重(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S109	砥石	16.3・3.9 2.0			西壁部 床面上5.5cm	細長い砥石。小口部分を除き、すべての側面が使われている。

2区23号住居出土遺物観察表(土器) 第64・65区・PL24

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1021	土師器 杯形土器	口縁~底部破片	口 17.4cm	南壁 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR6/4	丸底で体部の内湾し、口縁部が強く内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直削り。下半~底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1020	土師器 杯形土器	完形	口 12.3cm 高 3.4cm	北部 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1022	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存	口 12.4cm 高 3.7cm	埋没土	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1023	土師器 杯形土器	口縁部欠損	口 11.7cm 高 3.7cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	両曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1024	土師器 甕形土器	口縁~底部破片	口 17.4cm	埋没土	①細砂・直径3~5mmの小礫を含む。 ②酸化焼。 ③明赤7.5YR5/8	体部の弱い傾斜から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1025	須恵陶 杯形土器	ほぼ完成形	口 11.2cm 高 3.7cm 底 6.2cm	壇左前方 床面上5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5Y5/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。口縁部はやや内湾する。右回転口プロ型。底部裏切り後、回転調整。 内外面 回転ナメ調整。
1026	須恵陶 杯形土器	底部のみ残存	底部 9.8cm	壇前 床面上6cm	①直径1~5mmの砂粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰7.5YR/1	体部下位に裏割りを施す。 外面 右回転調整。 内面 回転ナメ。
1014	土師陶 壺形土器	体部一部欠損	口 23.5cm 高 34.0cm 底 5.0cm	壇左袖	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR/6	胴部上位に膨らみをもたせ、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナメ。体部斜・縦方向調整。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。体部横方向調整ナメ。底部横方向調整ナメ。
1018	土師陶 壺形土器	口縁~体部下位残存	口 17.0cm	壇左袖 床面上直上	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR/6	体部に膨らみのない、小形の壺形土器。 外面 口縁部横ナメ。体部縦方向調整。 内面 口縁部横ナメ。体部横方向調整。
1019	土師陶 壺形土器	口縁部破片	口 17.4cm	壇左袖 床面上直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR/6	ゆるやかに外反する口縁部。胴部は球形になるものと考えられる。 外面 口縁部横ナメ。輪縁み直れ。体部横方向調整。 内面 口縁部横ナメ。輪縁み直れ。体部斜方向調整。
1017	土師陶 壺形土器	口縁~体部下位残存	口 17.8cm	壇左袖	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ④明赤焼5YR5/8	球形胴部の小形壺形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナメ。体部斜方向調整。 内面 口縁部横ナメ。体部横方向調整。
1015	土師陶 壺形土器	底部・体部一部欠損	口 22.4cm 高 35.4cm 底 20.8cm 底 5.0cm	壇前 床面上直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ④明赤焼5YR5/8	胴部上位に膨らみをもたせ、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナメ。体部斜・縦方向調整。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。体部横方向調整ナメ。底部裏割り。
1016	土師陶 壺形土器	口縁~体部一部欠損	口 23.2cm 高 35.7cm 底 5.0cm	壇右前方 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ④明赤7.5YR5/6	胴部上位の膨らみが少ない長胴の壺形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナメ。体部縦・斜方向調整。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。体部横方向調整ナメ。底部横方向調整。

2 区24号住居出土遺物観察表(土器)第66図・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
633	土師陶 杯形土器	口縁部欠損	口 13.4cm	北東部 床面上3cm	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④焼7.5YR/6	両面する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り後、輪縁み直れ。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
635	土師陶 杯形土器	口縁~底部残存	口 13.6cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④明赤焼5YR5/6	内湾する体部から外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り。輪縁み直れ。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
634	土師陶 壺形土器	口縁部破片	口 24.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④焼7.5YR/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナメ。体部上位横方向調整。 内面 口縁部横ナメ。体部上位ナメ。

2 区26号住居出土遺物観察表(土器)第67図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1027	土師陶 杯形土器	口縁~底部残存	口 13.0cm 高 3.2cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④明赤7.5YR5/8	浅い体部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り。輪縁み直れ。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
1028	須恵陶 杯形土器	口縁~底部破片	口 14.0cm 高 3.4cm	埋没土	①黒色鉱物微細粒を含む。 ②還元焼。 ③灰白色N7	直線的な体部の杯形土器破片。 右回転口プロ型。底部裏切り難し技法不明。 内外面 回転ナメ調整

2 区30号住居出土遺物観察表(土器)第69図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1031	須恵陶 杯形土器	完成形	口 12.9cm 高 3.7cm	中央部 床面上直上	①黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ④灰10Y6/1	直線的な体部で、体部下位に裏割りを施す。 外面 口縁部~体部回転ナメ調整。底部回転裏切り。体部下位回転調整。 内面 回転ナメ調整。
1029	土師陶 杯形土器	口縁~底部残存	口 13.0cm 高 3.3cm	南部 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④焼5YR/8	わずかな丸底から、浅い体部に至り、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り。輪縁み直れ。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
1030	土師陶 杯形土器	口縁~底部一部欠損	口 14.0cm 高 3.7cm	南東部 床面上3.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ④焼7.5YR/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り。輪縁み直れ。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
1032	土師陶 杯形土器	ほぼ完成形	口 13.8cm 高 4.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ④焼5YR/6	わずかな丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナメ。体部斜ナメ。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。体部~底部丁寧ナメ。
1033	土師陶 杯形土器	口縁~底部残存	口 14.4cm	埋没土	①細砂・少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ④焼5YR/6	丸底から、やや外反するように立ち上がる口縁部に至る。 外面 口縁部横ナメ。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。底部丁寧ナメ。
1034	土師陶 杯形土器	口縁~底部残存	口 13.2cm 高 3.7cm	埋没土	①微細砂・小礫をごく少量含む。 ②酸化焼。 ④灰10Y7.5YR5/3	わずかな丸底から、やや外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナメ。体部上位横方向調整ナメ。底部裏割り。 内面 口縁部横ナメ。体部~底部丁寧ナメ。

遺物観察表

2区31号住居出土遺物観察表(土器) 第70図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1035	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存 口 13.0cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部土直ナゲ。下半~底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部~底部丁寧ナゲ。
1038	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存 口 12.0cm 高 3.3cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼2.5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。肩縁部ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
1037	土師器 盤形土器	口縁~底部破片 口 16.6cm 高 3.1cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
1038	土師器 杯形土器	口縁~底部破片 口 14.6cm 高 3.5cm		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶ・焼7.5YR6/4	平底の底部から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部下半横方向直削り。底部厚みが著しく整形不明。 内面 口縁部横ナゲ。体部丁寧ナゲ。放射状肌野。底部直削り。

2区31号住居出土遺物観察表(金属器) 第70図・PL25

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M14	不明	4.5・3.7 0.2	鉄	埋没土	一部に板形の外形を残す。板状の鉄製品。全体形状は不明である。

2区34号住居出土遺物観察表(土器) 第72図・PL26

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
636	土師器 盤形土器	底部欠損 口 18.0cm 高 25.0cm		竈内 床面上	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。③上半にぶ・黄褐色 10YR7/2 下半焼5YR6/6	底部が屈曲しないケツツ形の盤形土器。底部は小さく窪み。 外面 口縁部横ナゲ。輪縁部直削り。体部上半横方向直削り。下半斜方向直削り。内面 口縁部横ナゲ。輪縁部直削り。体部上半斜方向直削り。下半横方向ナゲ。

2区38号住居出土遺物観察表(土器) 第74・75図・PL26・27

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
666	土師器 杯形土器	ほぼ定形 口 12.5cm 高 4.3cm		貯蔵穴内 床面上3.5cm	①微細砂・細砂を多く含む ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部~底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部~底部丁寧ナゲ。
665	土師器 杯形土器	ほぼ定形 口 11.9cm 高 3.7cm		竈壁内 床面上22.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。肩縁部ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
664	土師器 杯形土器	定形 口 12.8cm 高 3.4cm		南東壁内 床面上43.5cm	①細砂・砂粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	湾曲する底部より、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。肩縁部は折ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
658	土師器 盤形土器	口縁~体部下位に残存 口 23.3cm		中央倉寄り 床面上16cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	球形の胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部上半横方向直削り。中位~下位斜方向直削り 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
663	土師器 盤形土器	口縁~体部下位に残存 口 23.0cm 高 31.9cm		竈右袖	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	胴部中位に膨らみもあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。下位の一部に縦方向直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
661	土師器 盤形土器	口縁~体部下位に残存 口 22.3cm		竈右袖	①白色微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	胴部中位よりやや上に膨らみがあり、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。底部折ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
662	土師器 盤形土器	口縁~体部下位に残存 口 23.0cm		竈右袖 竈内	①細砂・小粒を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	胴部中位に膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナゲ。体部上半横方向直削り。中位斜方向直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
660	土師器 盤形土器	口縁~底部に残存 口 11.1cm 高 32.6cm 底(3.8cm)		竈内	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶ赤帯5YR5/4	胴部上位にやや膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直削り。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
669	土師器 盤形土器	口縁~体部下位に残存 口 21.7cm		竈内 竈左袖	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	胴部中位にやや膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナゲ。体部上半横方向直削り。中位~下位斜方向直削り 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直削り。
670	土師器 杯形土器	口縁~底部に残存 口 12.8cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶ・焼7.5YR6/4	内高する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部中央直削り。肩縁部ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
671	土師器 盤形土器	口縁~底部破片 口 15.5cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	体部と口縁部を面す横縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。厚みが著しく単位・方向は不明。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
672	土師器 盤形土器	口縁~底部に残存 口 18.4cm 高 3.7cm		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	体部と口縁部を面す横縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直削り。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
673	煎茶碗 杯形土器	口縁～底部破片 口 (11.6cm)		埋没土	①小礫を少量含む。 ②還元焼。 ③オリーブ2YR5.5GY6/1	下位におこな丸みをもった体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部割転ナデ。底部平持も割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部割削ナデ。
667	土師器 壺形土器	口縁～体部下位ノ残存 口 (17.4cm)		埋没土	①煎茶碗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③におい焼5YR6/4	球形の胴から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上段方角削ナデ。中位斜方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。
668	土師器 壺形土器	口縁～体部下位ノ残存 口 (23.0cm)		埋没土	①煎茶碗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③におい焼5YR6/8	球形の胴から外反し、再直する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上段方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。

2区38号住居出土遺物観察表〈石器〉第74・75図・PL27

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S58	磨石・砥石	12.9 × 6.1 3.8	石英閃緑岩	中央倉寄り 床面上11.5cm	断面楕円形の棒状磨石。上面平分に磨り面、小口に縦方向の残存。
S57	砥石	15.6 × 6.4 6.4	凝灰石	南側 床面上17cm	断面正方形の大形の砥石。上面を使用している。

2区39号住居出土遺物観察表〈土器〉第76・77図・PL28

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
679	土師器 壺形土器	口縁～底部破片 口 (18.0cm)		電左地 床面直上	①煎茶碗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③おい焼7YR6/6	体部の側～縁部から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
674	土師器 壺形土器	口縁～体部下位残存 口 19.8cm		電右地	①煎茶碗砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③上半 におい焼10YR7/3 下半 明赤焼2.5YR5/6	胴部により膨らみをもたない壺形土器。最大径は口縁部にある。 外側 口縁部横ナデ。体部下方削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部以下不明。
675	土師器 壺形土器	胴部～体部下位残存		電右地	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③赤赤2.5YR5/2	胴部上位に膨らみをもたない壺形土器。 外側 頸部横方角削ナデ。体部下方削ナデ。 内側 頸部横ナデ。体部横方角削ナデ。
676	土師器 壺形土器	体部下位ノ残存 口 22.2cm 高 34.0cm 底 5.0cm		電左地	①煎茶碗砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③おい焼2YR6/6	胴部上位に膨らみをもつ。口縁部は外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。
678	土師器 壺形土器	口縁部破片・体部下位ノ残存 口 (22.0cm)		電内 床面上1.5cm	①煎茶碗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明赤焼2YR5/8	胴部中に膨らみをもつ壺形土器。口縁部は外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。
677	土師器 壺形土器	口縁～体部下位ノ残存 口 (21.0cm)		電内 床面上4.3cm	①煎茶碗砂を多く含む。 ②還元焼。 ③おい焼5YR6/6	胴部により膨らみをもたない壺形土器。口縁部は外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。
681	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.2cm)		埋没土	①煎茶碗砂を含む。 ②還元焼。 ③明赤焼5YR5/6	底部が再直して直立する口縁部に至る。口縁部と体部を測る縁線をもつ。外側 口縁部横ナデ。底部割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。

2区41号住居出土遺物観察表〈土器〉第78図・PL28

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1291	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ破片 口 (11.4cm)		貯蔵穴内 法面直上	①煎茶碗砂を含む。 ②還元焼。 ③におい焼10YR5/3	平直の底部から、わずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部無調整。底縁割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1290	土師器 杯形土器	口縁成形		南西部 床面上5.5cm	①煎茶碗砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③におい赤焼2.5YR5/3	平直の底部から、やや膨らみをもつて外反する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部丁寧。底部割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1289	土師器 壺形土器	口縁～体部下位残存 口 (20.6cm)		南部 床面上5.5cm	①煎茶碗砂と少量の小礫を含む ②還元焼。 ③おい焼5YR6/6	口縁部が一直立して、上位で外反する。最大径は胴部上位。 外側 口縁部横ナデ。体部上段方角削ナデ。中位段方角削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方角削ナデ。
1292	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (11.8cm)		埋没土	①煎茶碗・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明焼7YR6/6	平直の底部から、わずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部割削ナデ。周縁割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1293	煎茶碗 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.5cm) 高 3.5cm 底 (6.7cm)		埋没土	①煎茶碗砂を含む。 ②還元焼。 ③還元10Y/1	体部下位に丸みをもつて外反する。 右面縦方向割削。底部割削も切り離し。 内外側 割削ナデ調整。

2区45号住居出土遺物観察表〈土器〉第79・80図・PL29

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1040	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (11.8cm) 高 3.5cm		電外 床面上13cm	①煎茶碗砂と少量の小礫を含む ②還元焼。 ③おい焼5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部割削ナデ。周縁割削ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

遺物観察表

(2区45号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1039	土師器 埴形土師	口縁～底部下位1/4残存 口 (18.6cm)	縦内 厚さ (cm)	竈内 床面上1.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③灰黄緑10YR5/2	埴形に近い胴部から、直立する頸部、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部横ナゲ。体部斜方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部ナゲ。体部横方向直ナゲ。
1041	土師器 杯形土師	口縁～底部1/4残存 口 (13.4cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐5YR5/4	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部上半横方向直ナゲ。下半～底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部～底部丁寧ナゲ。

2区45号住居出土遺物観察表(石器)第79・80回・PL29

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 厚さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S111	磨石・磨石	12.5・6.8	磨製安山岩	埋没土	前面が深い楕円形を示す棒状。小口の片面に敲打痕が残る。それに接して磨り面もみられる。
S112	磨石	13.3・6.7	磨製安山岩	埋没土	前面が深い楕円形を示す円盤。表面面に磨り面が残る。
S113	磨石	12.8・7.6	磨製凝灰岩	埋没土	前面が深い楕円形を示す円盤。表面面に磨り面が残る。

2区53号住居出土遺物観察表(土器)第82回・PL29

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
683	土師器 杯形土師	口縁～底部1/4残存 口 13.8cm 高 3.8cm	竈内・貯蔵穴 西	床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③橙7.5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
682	土師器 杯形土師	口縁～底部1/4残存 口 (15.4cm) 高 3.8cm	竈内	床面上6.5cm	①小骨・砂粒を少量含む。 ②酸化焼。 ③橙7.5YR6/6	内面する体部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
684	土師器 埴形土師	頸部～体部中位1/4残存	竈左袖前 床面上3cm		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR3/8	埴形胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 体部斜方向直ナゲ。 内面 体部横方向直ナゲ。
685	土師器 埴形土師	口縁～底部1/4残存 口 (16.0cm)	埋没土		①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐7.5YR5/4	平直気味の底面から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
686	土師器 杯形土師	口縁～底部破片 口 (14.6cm)	埋没土		①砂粒・微細砂を含むが緻密な胎土。②酸化焼。 ③明赤褐2.5YR5/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ調整。

2区54号住居出土遺物観察表(土器)第84回・PL30

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
702	土師器 埴形土師	口縁～底部1/4残存 口 (17.0cm) 高 3.8cm	P1 南寄り	床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙7.5YR6/6	体部の深い狭縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
699	土師器 杯形土師	口縁部欠損 口 15.8cm 高 5.4cm	南側溝内東寄	床面上4.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	両面する底部から、やや内反気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部直ナゲ。上半直ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部～底部丁寧ナゲ。
700	土師器 埴形土師	口縁部欠損 口 16.5cm 高 3.2cm	南側溝内東寄	床面上9.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③橙7.5YR6/6	体部の深い狭縁から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
701	土師器 杯形土師	口縁～底部1/4残存 口 (14.6cm)	東側溝内	床面上20cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。
698	土師器 埴形土師	口縁部破片 口 (23.5cm)	東側溝内	床面上8.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR3/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。

2区54号住居出土遺物観察表(石器)第84回・PL30

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材	出土位置	形状・調整加工の特徴
S69	磨石	12.7・6.3	石英閃緑岩	埋没土	前面楕円形の棒状。表面の半分に磨り面が残る。
S70	磨石	8.7・4.3	砂岩	埋没土	前面隅丸三角形の棒状。表面面に磨り面が残る。

2区56号住居出土遺物観察表(土器)第85回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1045	土師器 杯形土師	口縁～底部1/4残存 口 (12.4cm)	竈壁腹上 床面直上		①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙7.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部丁寧ナゲ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1043	土師器 土師碗	口縁部破片	口(22.4cm)	塚部跡 灰面上2.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。
1044	土師器 土師碗	口縁～体部上位破片	口(23.8cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	外反する口縁部破片。断面は薄くなっている。 外面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直ナゲ。

2区62号住居出土遺物観察表(土器)第86図

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1046	土師器 土師碗	口縁～体部上位破片	口(20.8cm)	中央部 灰面上12.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼2.5YR6/6	外反する口縁部破片。断面上位に膨らみをもつと推定される。 外面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。
1047	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口(13.0cm)	埋没土	①砂粒・小礫を少量含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸底から口縁部が覗く内側ナゲ。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。

2区63号住居出土遺物観察表(土器)第87図・PL31

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
703	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口(13.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。
704	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口 12.8cm 高 4.7cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR6/4	筒倉状の器形から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。
705	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口(13.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。筋面。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR6/4	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。周縁直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。
706	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口(17.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	深い丸底から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部直ナゲ。底部横方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部直ナゲ。
707	土師器 土師碗	口縁～底部残存	口(11.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸気味に筒倉状の器形から、片方直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。底部直ナゲ。
709	土師器 土師碗	天弁部/破片	口(13.0cm)	埋没土	①微細黒色顔料粒を含む。 ②還元焼。 ③焼7.5YR6/1	水平な天弁部から顔やかに再会する口縁部に至り、口縁部寄りに盛りが つく。 内外面 回転ナゲ。
710	土師器 土師碗	体部上位破片	径(18.4cm)	埋没土	①微細砂・微細黒色顔料粒 を含む。②還元焼。 ③焼7.5YR6/1	肩の張る壺形土師碗破片。 外面 ナゲ後、平行沈積2条の間に斜めの磨削加工工具の削突文。 内面 ナゲ調整。

2区68号住居出土遺物観察表(土器)第88図

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1304	土師器 土師碗	頸部破片	径(22.9cm)	壺内 床面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③赤焼5YR4/6	最大径が頸部上位にあると推定される壺形土師碗破片。 外面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。

2区69号住居出土遺物観察表(土器)第89図・PL32

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1048	土師器 土師碗	口縁部破片	口(21.0cm)	壺内 灰面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR7/4	ゆるやかに外反する口縁部破片。体部は膨らみをもつと推定される。 外面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直ナゲ。
1049	土師器 土師碗	口縁～底部破片	口(13.6cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナゲ。体部直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部直ナゲ。

2区69号住居出土遺物観察表(石器)第89図・PL32

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 重さ(g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S116	敲石	14.7・7.1 3.3	553	実質安山岩	両側面 床面上直上	断面長方形を見せる敲石。巾の広い方の小口に敲打痕を残す。
S115	敲石・磨石	18.0・7.2 4.3	860	粗粒安山岩	両側面 床面上5.5cm	断面楕円形を見せる行障。一端を欠く。小口の片方一側面に敲打痕を残す。 また、裏面には磨り面が残る。

遺物観察表

2区79号住居出土遺物観察表(土器)第91図・PL32

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1314	須恵器 椀形土器	口縁→体部/破片 口(14.0cm) 高 3.6cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明焼10YR6/1	底部の周辺部に凹線が高るため削り出し高台のようにみえる。 内外面 回転ナデ調整。削り出し高台。
1315	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口(16.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	水平な天井部から緩やかに湾曲して口縁部に至り、つまみ出し短い返りが付く。内外面ともナデ調整。
1313	土器類 蓋形土器	口縁部破片 口(21.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	外反する口縁部破片。胴部中に膨らみをもつと想定される。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1316	土製品 紡錘車	光形 径 3.4cm 高 2.1cm 底 4.3cm 重 43.8g		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にょい焼7.5YR6/3	断面台形を呈する。やや上面が膨らんでいる。 焼成凹穿孔。 外面 上面有ナデ。側面指押え。下面丁寧ナデ。

2区79号住居出土遺物観察表(石器)第91図・PL32

番号	器種	長さ・幅・厚さ(cm)	石重(g)	行打痕(本)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S133	紡錘車	5.2 2.0	28.6	73.8	埋没土	断面台形を呈する。上・下面および側面は磨かれているが、使用による磨成が多くつけられている。

2区82号住居出土遺物観察表(土器)第92図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1054	須恵器 蓋形土器	天井部→口縁部/残存 口(21.0cm)		南西隅 床面直上12.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰NS色	水平な天井部・直線的な体部から短く内傾する口縁部に至る。大きな凹状の溝みを付ける。 内外面 回転ナデ。
1051	土器類 杯形土器	口縁→底部/残存 口(12.2cm) 高 3.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	平皿からやや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部直削り。底部直削り。体部に「万」の溝部。内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁寧ナデ。
1052	土器類 杯形土器	口縁→底部/残存 口(11.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR5/6	平皿からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁寧ナデ調整。
1053	土器類 杯形土器	口縁→底部/破片 口(13.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR5/6	平皿から外反する体部に至る。口縁部下に横溝をもつ。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部→底部丁寧ナデ。
1050	土器類 蓋形土器	口縁→体部上位/残存 口(19.2cm) 最(10.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/8	口縁部が一直立して上位で外反する。胴部上位に最大部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横・斜方向直削り。中位横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。

2区88号住居出土遺物観察表(土器)第94図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
711	土器類 蓋形土器	口縁→体部上位/残存 口(25.0cm)		甕石輪 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にょい焼2.5YR6/6	球形胴部から、外反する口縁部に至る。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。蓋面が荒れており単位は不明瞭。 内面 口縁部横ナデ。体部直削り。
713	土器類 杯形土器	口縁→底部/残存 口(13.3cm) 高 3.9cm		埋没土	①微細砂と少量の細砂を含む ②酸化焼。 ③にょい焼5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
714	須恵器 杯形土器	口縁→底部破片 口(10.0cm)		埋没土	①石灰粒・砂粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰オリーブ5Y5/2	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧調整。
715	須恵器 杯形土器	口縁→底部破片 口(12.0cm)		埋没土	①微細白土質物を含む。 ②還元焼。 ③焼7.5Y6/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 体部直削り。底部直削り。 内面 回転ナデ調整。
761	土器類 杯形土器	口縁→底部/残存 口(12.6cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部直削りと思われるが、摩耗が著しく単位・方向等不明。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
712	土器類 蓋形土器	口縁部破片 口(23.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にょい焼7.5YR6/6	底部がやや内湾する蓋形土器の口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。

2区97号住居出土遺物観察表(土器)第96図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1058	須恵器 高台付 杯形土器	口縁部/欠損 口(15.1cm) 高 4.1cm 底 10.6cm		南東隅 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y7/1	平皿の底部から直線的に外反し、内傾が極端な断面台形の高台を付す。 外面 口縁部→体部回転ナデ。体部下位→底部回転直削り。高台部ナデ 内面 口縁部→体部回転ナデ。底部手持直削り。
1056	土器類 杯形土器	口縁→体部中位/残存 口(12.0cm)		埋没土	①微細砂と少量含むが、微細な胎土。②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。

2. 歴史時代前中期の出土遺物

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫刻の特徴
1057	土器類 杯形土器	口縁～底部破片 口 (11.6cm)		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③紺7.SYR5/6	丸底から、縁線をもって短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。
1055	土器類 壺形土器	口縁～体部上位ノ残存 口 (24.6cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②明色焼。 ③明赤焼2.SYR5/6	やや膨らみをもった胴部から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。指押えが残る。体部上位側方方向旋削り。 内側 口縁部横ナズ。体部側方方向旋削り。

2区97号住居出土遺物観察表(土器) 第96図・PL33

番号	器種	高さ・幅 寸法 (cm)	口径 (cm)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S117	磁石	14.3 × 4.5 5.1	実質安山岩 303	南壁際 床面直上	前面隅丸三角形を呈する棒状物。小口の一端に縦溝を残す。

2区104号住居出土遺物観察表(土器) 第97・98図・PL34

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫刻の特徴
1065	土器類 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (14.6cm) 高さ 3.5cm	南西ノ壁 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.SYR5/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部側方方向旋削り後、指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部丁寧ナズ。	
1066	土器類 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.4cm)	南西ノ壁 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2.SYR5/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り後、指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1077	煎茶器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.6cm) 高さ 3.6cm 底 (11.0cm)	東壁際 床面直上	①微細砂と細砂を少量含む。 ②還元焼。③内 灰白SY7/1 外 灰SY5/1	上げ気味の胴部で傾斜が口縁部に向かって薄くなる。 右回転ロケロ斫削り。切り離し後、回転旋削り。 内外側 回転ナズ調整。	
1079	煎茶器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.0cm) 高さ 3.7cm 底 (10.9cm)	南西ノ壁 床直上4cm	①着色粘土細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰SY6/1	下に旋削りを施し、直線的に外反する体部。 外側 口縁部～体部横ナズ。ナズ調整。底部回転旋削り。 内側 口縁部～体部横ナズ。回転ナズ。底部回転ナズ。	
1080	煎茶器 杯形土器	口縁部～一部欠損 口 13.6cm 高さ 3.2cm 底 9.1cm	北西隅 床直上5cm	①細砂・微細砂・微細砂を多量に含む。②還元焼。 ③灰白7.SY7/1	下に旋削りを施し、直線的に外反する体部。 外側 口縁部～体部回転ナズ調整。底部右回転旋削り。 内側 回転ナズ調整。	
1064	土器類 杯形土器	完形 口 13.3cm 高さ 2.9cm	南壁際 床直上8.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③紺7.SYR7/6	わずかに丸底から、浅い体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。周縁ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1078	煎茶器 杯形土器	口縁部～一部欠損 口 13.6cm 高さ 3.6cm 底 8.2cm	南壁際 床直上13.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③紺白SY7/1	下に旋削りを施し、直線的に外反する体部。 外側 口縁部～体部回転ナズ調整。体部下位～底部右回転旋削り。 内側 回転ナズ調整。	
1067	土器類 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.2cm)	南前 床直上15cm	①細砂・微細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③明赤焼2.SYR5/8	平直気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り後、周縁指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1076	煎茶器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (14.0cm) 高さ 3.7cm	東壁際 床直上23cm 底 8.9cm	①小罫・細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③灰白SYR8/2	下にやや膨らみをもって外反する体部。 外側 口縁部～体部回転ナズ調整。体部下位～底部右回転旋削り。 内側 回転ナズ調整。	
1062	土師陶 杯形土器	口縁部破片 口 (19.0cm)	南前 床直上3cm	①砂粒を多量に含む。 ②酸化焼。 ③赤焼SYR4/6	膨らみをもたない体部から、ごく小さく外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部上位側ナズ。中位側方方向旋削り。 内側 口縁部横ナズ。体部側方方向旋削り。	
1059	土師陶 雙形土器	底部下位ノ残存 底 4.6cm	南壁寄り 床直上5.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2.SYR5/6	小さな底部から直線的に立ち上がる圓錐形体の体部。 外側 体部下位側方方向旋削り。底部旋削り。 内側 体部下位側方方向旋削り。	
1068	土師陶 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.6cm) 高さ 3.3cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺7.SYR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。底部中央に「★」(千字)の磨書。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1069	土師陶 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.2cm) 高さ 4.2cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.SYR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1070	土師陶 雙形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.7cm) 高さ 2.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼5YR7/4	体部の弱い縁線から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1071	土師陶 杯形土器	口縁～底部破片 口 (17.1cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.SYR5/4	湾曲する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。周縁ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1072	土師陶 杯形土器	口縁～体部ノ残存 口 (15.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にじみ赤焼5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部上半側旋削り。 内側 口縁部横ナズ。体部丁寧ナズ。	
1073	土師陶 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。破書。 ②酸化焼。 ③明赤焼2.SYR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	
1074	土師陶 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.SYR7/4	平直の底部から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部旋削り。周縁指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。	

遺物観察表

(2区104号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1061	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/4残存 口(14.0cm) 高 3.2cm 底(9.8cm)	埋没土	①胎土 ②還元焼 ③R2S5/1	わずかに深い底部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 回転ナデ。底部の整形は摩耗が著しく明瞭でない。 内面 回転ナデ。	
1062	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/4残存 口(13.5cm)	埋没土	①胎土 ②還元焼 ③R2N5/0	器内の深い真部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ。 内面 口縁部～底部回転ナデ。	
1075	土師器 甕形土器	口縁～体部下位1/4残存 口(16.4cm) 高 5.1cm	埋没土	①胎土を少量含む。酸化。 ②酸化焼。 ③黄褐色10YR5/6	下部に膨らみをもつ胴部から、やや外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁方向直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁方向直削ナデ。黒色処理。	
1060	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片 口(20.0cm)	埋没土	①胎土を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	中位に膨らみをもつ胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁・斜方向直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁方向直削ナデ。	
1061	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片 口(21.2cm)	埋没土	①胎土を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/8	中位に膨らみをもつ胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁・斜方向直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁方向直削ナデ。	
1063	土師器 土付 甕形土器	体部下位～台部残存 底(8.4cm)	埋没土	①胎土・赤色胎土を含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	低く開く台部破片。 外面 体部縁方向ナデ。右部縁方向ナデ。 内面 体部縁方向ナデ。台部ナデ。	

2区105号住居出土遺物観察表(土器)第99回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1317	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(19.6cm)	埋没土	①胎土を多量に含む ②酸化焼。 ③赤い・黄褐色10YR6/3	外反する口縁部破片。 外面 口縁部～体部縁ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。	

2区106号住居出土遺物観察表(土器)第100回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1319	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口(12.0cm)	埋没土	①胎土を多く含む。 ②酸化焼。 ③赤い・紺7.5YR6/4	平皿から、わずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。底部直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。体部～底部丁取ナデ。	
1318	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(19.3cm)	埋没土	①胎土を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部～体部縁ナデ。体部上縁縁方向直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。体部上縁縁方向直削ナデ。	

2区107号住居出土遺物観察表(土器)第102回・PL35

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1322	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4残存 口(12.8cm) 高 3.4cm	南壁内 床面上3cm	①胎土を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。底部直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。底部丁取ナデ。	
1323	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4残存 口(14.6cm) 高 4.1cm	中央北壁寄り 床面上8.5cm	①胎土を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/8	高曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。底部直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。底部丁取ナデ。	
1320	土師器 小形 甕形土器	口縁～底部1/4残存 口(11.4cm) 高 10.0cm	南壁内 床面上直上	①胎土・小粒を含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	小さな丸口から、胴や球形胴部に至る。口縁部は一旦直立、小さく外反する。外面 口縁部～体部縁ナデ。下部直削ナデ。体部～底部縁縁方向直削ナデ。内面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁方向直削ナデ。	
1321	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口(22.2cm)	東北角前 床面上8.5cm	①胎土を含む。 ②酸化焼。 ③赤い・紺7.5YR6/4	胴部やや膨らみをもつ。ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁方向直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。体部縁方向直削ナデ。	
1325	土師器 甕形土器	口縁～底部1/4残存 口(18.0cm) 高 3.3cm	埋没土	①胎土・小粒を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	体部の弱い後縁から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部縁ナデ。底部直削ナデ。 内面 口縁部～体部縁ナデ。底部丁取ナデ。	
1326	須恵器 土付 杯形土器	底部1/4残存 底(12.4cm)	埋没土	①胎土を多く含む。 ②還元焼。 ③R10Y5/1	平皿の底部から直線的に外反し、断面台形の高台を付す。 右回転ロクロ整形。底部回転直削ナデ。切り直し技法不明。付台高。 内外面 回転ナデ調整。	
1327	須恵器 甕形土器	天井～口縁部1/4破片 口(15.0cm)	埋没土	①胎土を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5YR8/1	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部寄りへ返りが付く。右回転ロクロ整形。天井部回転直削ナデ。 外面 口縁部～体部縁ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。	

2区107号住居出土遺物観察表(石器)第102回・PL35

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	重量(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S134	磨石	12.7 × 4.2 3.6	ひん岩 300	埋没土	断面圓錐三角形の特殊磨。裏面に磨り面が残る。

2区108号住居出土遺物観察表(土器)第103回

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
738	土師器 甕形土器	口縁~底部1/2残存 口(19.0cm)		南東隅 床面上3cm	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焼。 ③④よい赤褐色5YR7/4	球形の胴部から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部上平横・斜方向直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部上平横方向直ナズ。
740	須恵系 杯形土器	口縁~底部1/2残存 口(12.0cm)高 3.8cm	埋没土	埋没土	①微細黒色鉱物粒・白色鉱物粒を含む。②還元焼。 ③④N/S/	平底から膨らみをもって外反する体部に至る。 外側 体部回転ナズ調整。底部回転赤切り。 内側 体部回転ナズ。
741	須恵系 杯形土器	口縁~底部破片 口(12.0cm)高 3.6cm	埋没土	埋没土	①黒色鉱物粒を多く含む。②還元焼。 ③④10Y6/1	わずかな膨らみをもって外反する体部。 外側 口縁部~体部回転ナズ。底部回転赤切り後、周縁のみナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部回転ナズ。
742	須恵系 杯形土器	底部1/2破片 底(3.8cm)	埋没土	埋没土	①微細黒色鉱物粒を含む。②還元焼。硬質。 ③④7.5Y6/1	平底から直線的に外反する体部。 外側 底部回転赤切り。 内側 底部回転ナズ調整。

2区110号住居出土遺物観察表(土器)第104回・PL36

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1328	須恵系 横瓶	口縁部欠損 瓶 11.3cm 底 6.2cm		住居南側 遺構跡面	①胎土 ②酸化 ③色調 ④還元焼。 ⑤⑥7.5Y6/1	平底からわずかに膨らみをもって外反する体部。体部上面も膨らみがある。回転口ノコ整形。底部回転赤切り後、手持ち整理り。 内外側 回転によるナズ調整。外側 肩位に1条の沈線を送らす
1329	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(18.0cm)		住居南側 遺構跡面	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③④よい赤褐色5YR5/3	胴部上に膨らみをもり、わずかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部~肩部横ナズ。体部上位横方向直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部上位横方向直ナズ。

2区111号住居出土遺物観察表(土器)第105回

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1330	須恵系 杯形土器	底部1/2残存 底(9.6cm)		南 床面上2.3cm	①胎土・小礫を含む。 ②還元焼。 ③④7.5Y6/1	体部下位に凹部を施す。 右回転口ノコ整形。底部回転赤切り後、周縁のみ回転整理り。 内外側 回転ナズ調整。

2区111号住居出土遺物観察表(石器)第105回・PL36

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石重 多(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S125	磨石・敲石	12.6・5.7 3.9	480	埋没土	断面隅丸長方形を示す棒状礫。小口の一方に縦打痕を残す。裏面には磨り面を残す。
S126	敲石	12.8・3.5 3.2	370	埋没土	断面楕円形を示す棒状礫。一個縁の端部に縦打痕を残す。
S137	磨石・敲石	10.3・5.2 3.0	260	埋没土	断面楕円形を示す棒状礫。小口の一方に縦打痕を残す。裏面には磨り面を残す。
S138	磨石・敲石	7.6・5.5 3.3	260	埋没土	断面隅丸長方形の円縁の半欠。一個縁の端部に縦打痕を残す。また、表裏面には磨り面を残す。

2区8号土坑出土遺物観察表(土器)第106回・PL36

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1433	土師器 杯形土器	口縁~底部1/2破片 口(11.0cm)高 2.5cm	埋没土	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③④5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部~底部ナズナズ。
1438	土師器 杯形土器	口縁~底部1/2破片 口(11.0cm)高 2.9cm	埋没土	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③④明赤褐色5YR5/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部ナズ。胎土地の痕跡が残る。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部~底部ナズナズ。
1434	土師器 杯形土器	口縁~底部1/2破片 口(11.4cm)高 2.6cm	埋没土	埋没土	①微細砂をごく少量含む。 ②酸化焼。 ③④明赤褐色5YR5/6	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部粘土地の痕跡が残る。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部~底部ナズナズ。
1435	土師器 甕形土器	口縁~底部1/2破片 口(18.0cm)	埋没土	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③④5YR6/6	平底兜味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズと思われるが摩耗が著しい。 内側 口縁部横ナズ。底部ナズナズナズと見られるが摩耗著しい。
1437	須恵系 高台付 杯形土器	底部・高台部残存 底 7.5cm	埋没土	埋没土	①細砂・黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ③④5Y6/1	体部下位に丸みをもって外反する体部を付す。 右回転口ノコ整形。底部回転赤切り難し。付高台。 内外側 高台接合部回転ナズ調整。体部回転ナズ調整。
1439	須恵系 甕形土器	口縁~底部1/2残存 口(14.5cm)高 5.4cm 底(7.2cm)	埋没土	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③④7.5Y6/1	丸みをもった低い体部に、断面台形の低い高台が付す。 右回転口ノコ整形。底部回転赤切り難し。付高台。 内外側 高台接合部回転ナズ調整。体部回転ナズ調整。
1438	須恵系 杯形土器	口縁~底部1/2残存 高台部欠損 口(16.0cm)	埋没土	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③④オリーブ黒5Y3/1	底部から直線的に外反し、体部に口ノコ痕が残る。 右回転口ノコ整形。底部回転赤切り後、手持ち整理り。付高台。 内外側 高台接合部ナズ。体部回転ナズ調整。

遺物観察表

3区1号住居出土遺物観察表(土器)第108図・PL38

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1333	土師陶 蓋形土器	口縁部破片 口(23.6cm)		甕 床面直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色YR5/6	膨らみをもたない胴部から、腹やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。
1331	須恵陶 杯形土器	完形 口12.6cm 高 3.8cm 底 6.5cm		西壁際 床面上6cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③オリーブ灰SY5/1	下部にやや膨らみをもって外反する体部。 右回転クワコ形。回転軸切り離し。 内外側 回転ナズ調整。
1332	須恵陶 高台付 杯形土器	口縁～底部の残存 口(15.0cm) 高 3.7cm 底(11.8cm)		南西隅 床面上10cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③浅黄SY7/3	体部の直線的に外反し、内端が接地する断面台形の高台を付す。 右回転クワコ形。底面回転軸切り離し。 内外側 回転によるナズ調整。
1336	土師陶 杯形土器	口縁～体部の残存 口(11.0cm)		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③におい増7.5YR5/4	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部下半部押え。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部下半部ナズ。
1334	土師陶 杯形土器	口縁～底部の残存 口(11.8cm) 高 3.3cm		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③増7.5YR6/6	平底の底部から、外反する体部に至る。口縁部は大きく開く。 外側 口縁部横ナズ。体部下半部押え。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部下半部ナズ。中心部放射状の指押え。
1335	土師陶 杯形土器	口縁～底部の残存 口12.7cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③増7.5YR6/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。周縁のみ指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。
1337	須恵陶 蓋形土器	天井部破片 横 5.4cm		埋没土	①細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	水平な天井部。ボタン状の縁みを付す。 内外側 回転ナズ調整。

3区3号住居出土遺物観察表(土器)第109図・PL38

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1085	土師陶 杯形土器	口縁～底部の残存 口(13.0cm)		南東隅 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい増7.5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部～底部直ナズ。
1087	須恵陶 杯形土器	底部の残存 底(7.6cm)		甕前 床面直上	①細砂・小砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白10Y7/1	平底から、体部が円曲して立ち上がる。 外側 底部右回転直ナズ。 内側 底部回転ナズ。
1083	土師陶 蓋形土器	口縁～体部中央の残存 口(18.4cm)		甕左袖前 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色YR5/6	膨らみをもたない胴部から、わずかに外反する口縁部。 外側 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。
1088	須恵陶 杯形土器	底部の残存 高 8.0cm		甕左袖脇 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰10Y5/2	平底から、体部が円曲して立ち上がる。 外側 底部右回転直ナズ。 内側 底部回転ナズ。
1084	土師陶 蓋形土器	口縁～体部中央の残存 口(19.0cm)		甕内 床面上10.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい増7.5YR6/4	最大径が胴部上位より、口縁部があり外反しない。 外側 口縁部横ナズ。体部上位直ナズ。中位縦方向直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。
1089	須恵陶 蓋形土器	胴～口縁部の残存 口(13.2cm) 高 2.3cm		北東壁寄り 床面上5cm	①細砂を含む。黒色炭粉粒を多く含む。②還元焼。 ③灰白5Y7/1	水平な天井部から、腹やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部寄りにわずかな湾りを付す。外側 横み部ナズ。天井部回転直ナズ。口縁部横ナズ。内側 天井部～口縁部回転ナズ。
1086	土師陶 杯形土器	口縁～底部の残存 口(13.0cm)		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③増7.5Y7/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。周縁のみ指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。

3区3号住居出土遺物観察表(金属器)第109図・PL38

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M27	刀子	10.9 × 1.3 0.6	鉄	北東壁寄り 床面上4cm	刃部長8.3cmの両側の刀子。基部は開か0.7cmほどのところで欠損している。

3区5号住居出土遺物観察表(土器)第110図・PL39

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
384	土師陶 杯形土器	母形完形 口12.0cm 高 3.3cm		甕前 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色YR5/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。
386	土師陶 杯形土器	口縁～底部の残存 口(12.4cm) 高 4.0cm		西壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色YR5/6	湾曲する底部から、長めに直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。
385	土師陶 盤形土器	口縁～底部の残存 口(17.6cm)		A甕左前 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③増5YR6/6	体部の弱い腹線から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。
387	土師陶 盤形土器	口縁～底部の残存 口(15.8cm)		南西隅 床面上6cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③増5YR6/6	体部の弱い腹線から、外湾する短い口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部直ナズ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
383	土師器 甕形土器	口縁～底部下段残存	口 22.0cm	南壁左袖	①少量の黒磁砂と赤色鉱物粒を含む。②酸化焼。③地色YR6/6	上位に膨らみをもつ体部から、短く屈曲して外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。下位は直置列のまま、頸部横ナズ。体部斜方角置列り。一部ナズ。内側 口縁部横ナズ。体部横方角置ナズ。
390	土師器 甕形土器	口縁～底部1/4残存	口 16.5cm 高 4.3cm	埋没土	①黒磁砂を含む。②酸化焼。③地色YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直置列り。周縁指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。
391	土師器 甕形土器	口縁～底部破片	口 (18.6cm)	埋没土	①黒磁砂を少量含む。②酸化焼。③地色YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部中央置列り後、周縁指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ調整。
392	土師器 甕形土器	口縁～底部1/4残存	口 (17.3cm)	埋没土	①砂粒・石灰質粒を含む。②酸化焼。③地色YR6/8	体部の弱い後縁から、外湾する口縁部に至る。 外側 直部横方角置列り。口縁部横ナズ。 内側 底部丁寧ナズ調整。口縁部横ナズ。
393	土師器 杯形土器	口縁～体部1/4残存	口 (12.0cm)	埋没土	①黒磁砂を多く含む。②酸化焼。③地色YR6/6	高曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部上半直ナズ。下半置列り。 内側 口縁部横ナズ。体部丁寧ナズ。
394	土師器 杯形土器	口縁部破片	口 (12.6cm)	埋没土	①黒磁砂を少量含む。②酸化焼。③地色YR6/6	体部と口縁部を薄く後縁をもつ。 外側 口縁部横ナズ。底部直置列り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧調整。
388	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/4残存	口 (23.8cm)	埋没土	①石灰質・黒砂を多く含む。②酸化焼。③にぶい地色YR5/4	膨らみをもたない体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。頸部指ナズ。体部上位斜方角置列り。 内側 口縁部横ナズ。体部横方角置ナズ。
389	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片	口 (24.8cm)	埋没土	①黒砂・砂粒を多く含む。②酸化焼。③にぶい地色YR6/4	膨らみをもたない体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部横方角置列り。 内側 口縁部横ナズ。体部横方角置ナズ。
395	直置器 甕形土器	天井・胴部破片	口 (18.6cm)	埋没土	①黒磁砂を少量含む。②還元焼。③地色5Y6/1	水平な天井部、浅い体部から、緩やかに高曲する口縁部に至る。口縁部寄りわずかな反りが付く。外側 天井部回転置列り。胴部回転ナズ調整。内側 周縁部回転ナズ調整。中央部手持ちナズ調整。
396	直置器 甕形土器	口縁部破片	口 (15.8cm)	埋没土	①黒磁砂を含む。②還元焼。③地色5Y6/1	水平な天井部から緩やかに高曲する口縁部に至り、短い反りが付く。 外側 天井部回転置列り。口縁部横ナズ。 内側 回転ナズ調整。

3区6号住居出土遺物観察表(土器)第113図・PL40

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1095	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4残存	口 (13.4cm) 高 3.4cm	南壁直上 床面上13.5cm	①黒磁砂を多く含む。②酸化焼。③地色YR6/6	わずかな気底から、浅い体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直置列り。周縁指挿入。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。
1098	直置器 杯形土器	口縁部破片	口 14.5cm 高 3.7cm 表 5.5cm	南壁直上 床面上13.5cm	①黒磁砂を含む。②還元焼。③外周(内)浅色2.5Y7/3	やや膨らみをもって外反する体部。下位に置列りを施す。 外側 口縁部～体部中央回転ナズ。体部下位回転置列り。底部回転糸切り離し後、周縁のみ回転置列り。内側 回転ナズ。
1094	直置器 甕形土器	口縁～体部上位1/4残存	口 (17.0cm)	北壁直上	①黒磁砂・黒色炭素質物粒を含む。②還元焼。③地色N6/	肩の張る体部から、直立に近く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部平行タナ後ナズ。 内側 口縁部回転ナズ。体部横方角置ナズ。
1093	土師器 台形 甕形土器	台部残存 高 8.4cm		埋没土	①鉄質物のない褐色な胎土。②酸化焼。③にぶい地色2.5YR6/4	ハの字に開く、やや高い体部。 外側 台部回転ナズ調整。 内側 体部直置列り後ナズ。台部回転ナズ調整。
1096	土師器 杯形土器	口縁～底部1/4残存	口 (12.1cm)	埋没土	①黒磁砂を含む。②酸化焼。③明赤地色YR5/8	平底気味の底部から、高曲気味の体部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直置列り。周縁指ナズ。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。
1097	土師器 甕形土器	口縁～底部1/4残存	口 (14.0cm)	埋没土	①黒砂を多く含む。②酸化焼。③地色2.5YR6/6	体部の弱い後縁から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。底部直置列り。 内側 口縁部横ナズ。底部丁寧ナズ。
1099	直置器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (15.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①黒磁砂・黒色炭素質物粒を多く含む。②還元焼。③明青灰SPB7/1	直線的に外反する体部。 外側 回転ナズ調整。底部切り離し後、回転置列り。 内側 回転ナズ調整。
1100	直置器 甕形土器	1/4破片	口 (16.0cm)	埋没土	①黒磁砂を多く含む。②還元焼。③にぶい地色2.5Y6/3	水平な天井部から緩やかに高曲する口縁部に至り、口縁部は垂直気味に膨らむ。 外側 台部回転置列り後、周縁のみ横ナズ。 内側 回転ナズ調整。
1101	直置器 甕形土器	口縁部破片	口 (19.8cm)	埋没土	①黒磁砂を少量含む。②還元焼。③灰白10Y7/1	浅い体部から、垂直気味の口縁部に至る。 内外側 回転ナズ調整。
1102	直置器 甕形土器	胴部破片 高 (5.0cm)		埋没土	①砂粒を含む。②還元焼。③明黄地色5Y7/6	水平な天井部に輪状の溝みを付す。 内外側 回転ナズ。
1092	ロクロ 土師器 甕形土器	口縁～底部1/4残存	口 (20.2cm) 高 10.7cm 表 (10.6cm)	埋没土	①黒磁砂を多く含む。②酸化焼。③にぶい黄地10Y7/4 内黒	上位に膨らみをもって外反する体部から、短く外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部回転ナズ。底部回転糸切り離し後周縁横ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部～底部ナズ調整。
1090	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/4残存	口 (21.0cm)	埋没土	①黒磁砂・少量の小礫を含む。②還元焼。③にぶい地色2.5YR6/4	中位に膨らみをもつ体部から、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナズ。体部上位斜方角置列り。 内側 口縁部横ナズ。体部横方角置列り。

遺物観察表

(3区6号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1427	土製品 須口	基部～底部/残存	高 8.8cm 径 (7.5cm)	埋没土	①微細砂・砂粒を含む。 ②酸化色。 ③(外) におい黄褐色10YR7/4 (内) 焼7.5YR5/6	外径7.5cmほどとみられる須口の破片。 通風口の内径は2.5cmと推定できる。
1428	土製品 須口	再底部欠損	径 (8.2cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③におい黄褐色10YR7/4	器内に挿入する須部の破片。丸くすぼまるようにつくられていたと思われるが、先端部は欠損している。湾の付着する角度は30°である。通風口の内径は1.8～2.0cmである。
1428	土製品 須口	基部欠損	径 (8.3cm)	埋没土	①細砂を含む。 ②酸化色。 ③(外) 灰黄2.5Y7/2 (内) におい黄褐色10YR7/4	器内に挿入する須部の破片。須部は、25°ほど斜めにつくられており、湾の付着角度もそれに準じる。通風口の内径は2.5cmである。

3区6号住居出土遺物観察表(金属器)第113図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M30	鉄鏃	7.2径・最2.8 2.0・2・最0.3	鉄	埋没土	やや丸い長三角形で脇状をもつ鏃身に、短い翼状がつく。翼は2.5cmほどで欠損している。

3区7号住居出土遺物観察表(土器)第115図・PL41

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1165	土師器 杯形土器	口縁	口径 12.0cm 高 3.4cm	貯蔵穴左壁部 床面上7.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化色。 ③におい橙5YR7/4	平直気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部破ナド。底部直削り。肩縁部ナド。 内面 口縁部破ナド。底部丁寧ナド。
1168	土師器 盤形土器	口縁～体部下位/残存	口径 22.0cm	南東部P縁部 床面上8cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化色。 ③焼7.5YR5/6	上位に膨らみをもつ割部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部上位斜方向直削り。下位縦方向直削り。 内面 口縁部破ナド。体部横方向直削り。
1166	土師器 杯形土器	口縁部破片	口径 (13.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。緻密。 ②酸化色。 ③明赤褐色5YR5/6	平直気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部破ナド。底部直削り。 内面 口縁部破ナド。底部丁寧ナド。
1197	須恵器 杯形土器	底部/破片	底 (10.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元色。 ③R7.5Y6/1	平直から直線的な体部に至る。 内外面 回転ナド調整。切り難し技法。摩耗が著しく不明。
1194	土師器 羹形土器	口縁～体部中位/残存	口径 (20.2cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色5YR5/8	上位に膨らみをもつ割部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部上位横方向直削り。中位斜方向直削り。 内面 口縁部破ナド。体部横方向直削り。

3区8号住居出土遺物観察表(土器)第116図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1198	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存	口径 (10.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③におい黄7.5YR5/3	平直気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部破ナド。底部直削り。肩縁部ナド。 内面 口縁部破ナド。丁寧ナド。

3区5号清出土遺物観察表(土器)第117図・PL41

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1343	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口径 (11.0cm) 高 2.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色5YR5/6	平直の底部から、やや膨らみをもつて外反する体部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部直削り。底部直削り。 内面 口縁部破ナド。体部～底部丁寧ナド。
1342	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口径 (13.4cm) 高 4.2cm	埋没土	①少量の微細砂と赤色鉱物粒を含む。 ②酸化色。 ③黄褐色10YR5/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部～底部直削り後ナド。 内面 口縁部破ナド。体部～底部丁寧ナド。
1344	土師器 杯形土器	口縁～体部破片	口径 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③におい赤褐色5YR5/4	平直からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部直削り。底部直削り。 内面 口縁部破ナド。体部丁寧ナド後、縦方向の幅広い幅が施されている。
1345	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存	口径 (12.6cm) 高 4.0cm 底 6.3cm	埋没土	①微細砂・小粒を多く含む。 ②還元色。 ③R7.5Y6/1	平直からわずかな膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クロロ整形。底部回転削り難し。 内外面 回転ナド調整。
1346	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存	底 (8.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元色。 ③R7.5Y7/2	厚い断面の底部から、直線的に外反する体部に至る。 回転クロロ整形。底部削り難し。手持ち丁寧ナド。 内外面 回転ナド調整。

5区2号住居出土遺物観察表(土器)第118図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1266	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存	口径 (13.4cm)	南部 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③橙5YR5/8	平直気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部破ナド。体部ナド。底部直削り直削り。 内面 口縁部破ナド。体部～底部丁寧ナド調整。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1357	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (13.4cm) 高 3.4cm 底 (8.8cm)	南東部 床面上16cm	①黒色炭物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰RN6/	平底から下に膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転ロクロ型。底部回転糸切り難し。 内外面とも回転ナデ調整。
1358	須恵器 椀形土器	底部に残存	底 (8.6cm)	北中央部 床面上4.5cm	①微細砂・白色炭物粒を含む ②還元焰。 ③灰RN5/	下に膨らみをもって外反する体部。断面台形の高出を付す。 右回転ロクロ型。底部回転糸切り難し。付高出。 内外面 回転ナデ調整。
1359	土師器 椀形土器	口縁～体部上位に残存	口 (20.2cm)	竈内 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③焼5YR6/6	口縁部が一直立して上位で外反する。 外側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部側方向傾ナデ。
1354	土師器 小形 椀形土器	口縁～体部上位破片	口 (11.6cm)	北東部 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③焼5YR6/6	口縁部が一直立して上位で外反する。 外側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。

5区3号住居出土遺物観察表(土器)第119図

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1359	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (11.2cm) 高 2.5cm 底 (6.8cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③焼5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。体部下位傾ナデ。底部削ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1872	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/3に残存	口 (6.2cm) 高 4.0cm 底 (5.6cm)	中央部東寄り 床面上12.5cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③焼黄2.5Y7/4	やや小さな蓋部から、下に膨らみをもつ体部にいたる。口縁部は外反。 底部は切り難し。周縁部回転削ナデ。 内外面とも、回転ナデ調整。

5区8号住居出土遺物観察表(土器)第122・123図・PL44

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1472	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (13.9cm) 高 3.1cm	南東部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③におい焼5YR7/4	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。高部削ナデ。周縁部ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。底部丁寧ナデ。
1473	須恵器 杯形土器	口縁部欠損	口 12.9cm 高 4.0cm 底 7.4cm	中央部 床面上27.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰オリーブ5Y6/2	わずかな膨らみをもって外反する体部。 右回転ロクロ型。底部回転糸切り難し。 内外面 回転ナデ調整。
1474	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部破片	天井 (14.2cm) 口 (14.2cm)	北部 床面上21.5cm	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	やや厚く水平な天井部から、両面から口縁部に至る。返りはない。 外側 天井部左回転削ナデ。口縁部回転ナデ調整。 内側 回転ナデ調整。
1479	土師器 蓋形土器	口縁～体部下位に残存	口 21.6cm	東部 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③明赤焼5YR5/6	上位でやや膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。中位～下位側方向傾ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部側方向傾ナデ。
1419	土師器 蓋形土器	口縁～体部中位に残存	口 (21.6cm)	竈前 床面直上	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③におい焼5YR5/3	上位に膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。下位側方向傾ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部側方向傾ナデ。
1418	土師器 蓋形土器	口縁～体部下位に残存	口 (21.4cm)	竈前 床面直上	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③明赤焼2.5YR5/6	上位に膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。下位側方向傾ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。体部上位側方向傾ナデ。

6区1号住居出土遺物観察表(土器)第125図

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1362	須恵器 蓋形土器	1/10破片	口 (12.0cm) 高 2.7cm	中央東寄り 床面上1.5cm	①ごく微細な黒色炭物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	平らな天井部から、圓錐の突起をもち口縁部は垂直に長く伸びる。 内外面 回転ナデ調整。

6区4号住居出土遺物観察表(土器)第126図・PL45

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1364	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 11.5cm 高 3.1cm 底 8.8cm	竈前 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明焼7.5YR5/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外側 口縁部傾ナデ。高部削ナデ。 内側 口縁部傾ナデ。底部丁寧ナデ。口縁部に横付着。
1366	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～体部欠損・高台部欠損	口 15.3cm	南東部 床面上2.5cm	①微細砂・褐色炭物粒を含む ②還元焰。 ③オリーブ黒5Y3/2	やや小さな蓋部から、下にわずかな膨らみをもつ体部に至る。 右回転ロクロ型。回転糸切り難し。付高出。 内外面 回転ナデ調整。
1369	須恵器 高台付 椀形土器	底部～高台部に残存	底 9.8cm	北東部 床面上4cm	①微細砂と少量の砂粒を含む ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	底部がやや肥厚する。断面台形の高出部。 外側 底部切り難し。ナデ。付高出。 内側 回転ナデ調整。
1365	須恵器 杯形土器	ほぼ完好	口 15.1cm	貯蔵穴内 基面上19cm	①小礫・褐色炭物を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	やや小さな蓋部から、下にわずかな膨らみをもつ体部に至る。 右回転ロクロ型。底部回転糸切り難し。 内外面 回転ナデ。
1368	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.0cm) 高 3.5cm 底 6.3cm	東壁際 床面上9cm	①砂粒・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	平底から、直線的に外反する体部に至る。 左回転ロクロ型。底部回転糸切り難し。 内外面とも回転ナデ調整。

遺物観察表

(6区4号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1367	直足器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(14.4cm) 高 3.5cm 底 6.4cm		南東部 床直上9cm	①細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰黄7.5YR6/2	平底から、直線的に大きく外反する浅い体部に至る。 外側 口縁部一体部回転ナズ調整。底部左回転未切り離し。 内側 口縁部一部回転ナズ調整。
1370	直足器 蓋形土器	口破片 口(14.0cm)		貯蔵穴内 床直上10cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰N4/	水平な天井部・直線的な体部からやや外傾する口縁部に至る。 内側面 回転ナズ調整。
1363	土師器 甕形土器	口縁へ体部上破片 口(24.0cm)		竈内 甕使用面直上	①微細砂と少量の小礫を含む ②還元焼。 ③焼5YR6/6	胴部上に最大径をもち、口縁部がゆるやかに外反する。 外側 口縁部傾ナズ。体部上破片方向異なり。 内側 口縁部傾ナズ。体部上位置ナズ。
1371	直足器 甕形土器	口縁へ一部残存 口(17.0cm)		埋没土	①砂粒・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰黄緑10YR6/3	縁部が大きく、体部下位におよぶかならみをもつ。 右回転ク口整形。底部回転未切り離し。付高台。 内外面 回転ナズ調整。

6区5号住居出土遺物観察表(土器)第127図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1372	土師器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(12.0cm) 高 3.1cm		竈面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明焼7.5YR5/6	平底の底部から、ややならみをもって外反する体部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。体部指折り。底部削削ナズ。 内側 口縁部傾ナズ。体部一部傾ナズ。

6区5号住居出土遺物観察表(土器)第128図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1110	土師器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(13.0cm) 高 3.0cm		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③焼5YR6/6	平底気味の底部から、両曲気味の体部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。底部削削ナズ。周縁指折りナズ。 内側 口縁部傾ナズ。底部丁寧ナズ。
1109	土師器 甕形土器	口縁部破損 口(20.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③明赤焼5YR5/8	胴部上に最大径をもち、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。体部傾削ナズ。 内側 口縁部傾ナズ。体部傾削ナズ。

6区7号住居出土遺物観察表(土器)第129図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1373	土師器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(12.0cm)		中央南寄り 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③焼7.5YR6/6	わずかな気底から、浅い体部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。底部傾削ナズ。 内側 口縁部傾ナズ。底部丁寧ナズ。
1374	直足器 蓋形土器	1/10破片 口(13.0cm)		中央部 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白N4/	水平な天井部から緩やかに両曲する体部を経て口縁部が垂直に折れる。 内外面 回転ナズ調整。

6区11号住居出土遺物観察表(土器)第130図・PL47

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1113	土師器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(12.4cm) 高 3.7cm		中央南寄り 床直上8.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄7.5YR6/4	両曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。底部削削ナズ。周縁指折りナズ。 内側 口縁部傾ナズ。底部丁寧ナズ。
1114	土師器 杯形土器	口縁へ一部残存 口(18.0cm) 高 6.3cm		竈内 床直上9cm	①微細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③焼5YR6/6	深く両曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。体部一部傾削ナズ。体部上破片方向不明。 内側 口縁部傾ナズ。体部一部傾削ナズ。
1111	土師器 甕形土器	口縁へ一部上破片残存 口(22.6cm)		中央北寄り 床直上10cm	①微細砂を多量に含む。 ②還元焼。 ③焼5YR7/6	中位に膨らみのある胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。胴部ナズ。体部傾削ナズとみられるが、方向・単位は不明。 内側 口縁部傾ナズ。体部傾削ナズとみられるが、方向・単位は不明。
1112	土師器 甕形土器	口縁へ一部上破片残存 口(24.0cm)		中央北寄り 床直上10cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③焼7.5YR6/6	中位に膨らみがある胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。縁部のみ傾削。体部上破片方向異なり。 内側 口縁部傾ナズ。体部傾削ナズ。

6区13号住居出土遺物観察表(土器)第132図・PL47

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1116	土師器 杯形土器	ほぼ完整 口(13.3cm) 高 3.5cm		南東部 床直上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③焼5YR6/6	両曲する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部傾ナズ。底部削削ナズ。周縁指折りナズ。 内側 口縁部傾ナズ。底部丁寧ナズ。
1115	ワケロ 土師器 甕形土器	口縁へ一部破片 口(18.0cm) 高 8.2cm		南東部 床直上3.0cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。③(内) 黒 (外) 灰白焼5YR7/3	平底から下位に膨らみをもつ深い体部に至る。口縁部に1cm以上縁部が広がる。 外側 口縁部傾ナズ。体部部分的に厚壁化が看取される。底部削削ナズ。 内側 口縁部一部傾削ナズ。
1118	直足器 杯形土器	口縁へ一部破片 口(13.4cm)		竈右側 床直上7cm	①黒色陶粒を含む。 ②還元焼。 ③灰黄7.5Y7/2	やや小さな平底から、直線的に外反する。 内外面 回転ナズ調整。厚縁・厚壁が著しく、底部切り離し技法等不明

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	品名	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・形状の特徴
1117	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (12.0cm)	埋没段土	①胎土を多量に含む。 ②酸化色。 ③におい焼7.5YR5/4	両面する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り、円縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。

7区3号住居出土遺物観察表(土器)第133図

番号	品名	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・形状の特徴
1376	須恵系 高台付 碗形土器	底部のみ残存	底 7.3cm	南西隅 床面上7.5cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②還元色。 ③におい焼10YR6/4	やや開いた断面三角形の低い高台。 右側縁の口縁部。回転糸切り磨し。付高台。 内面 回転ナダ調整。
1377	土師器 壺形土器	口縁～体部中位破片	口 (19.8cm)	埋没段土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	口縁部が一旦直立して上段で外反する。最大径は胴部上段。 外面 口縁部横ナダ。体部上平焼・斜方向直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上平焼方向直ナダ。

7区4号住居出土遺物観察表(土器)第134図

番号	品名	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・形状の特徴
1379	須恵系 杯形土器	口縁部破片	口 (14.2cm)	南面 床面上11cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元色。 ③灰10Y5/1	下位に膨らみをもって外反する体部。 内外面 回転ナダ調整。
1378	土師器 壺形土器	口縁部破片	口 (18.0cm)	中央部 床面上	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	緩やかに外反する口縁部。 外面 口縁部横ナダ。体部上段斜方向直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上段斜方向直ナダ。

7区6号住居出土遺物観察表(土器)第136図・PL48

番号	品名	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・形状の特徴
1123	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (13.6cm) 高 3.6cm	西壁寄り 床面上1.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③焼5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り、円縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1124	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (17.2cm)	北壁端 床面上1.5cm	①細砂を含む。 ②酸化色。 ③におい焼7.5YR6/4	体部と口縁部を両方横焼をもつ。大形。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1125	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (17.0cm) 高 5.3cm	南壁端 床面上3cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化色。 ③焼5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り、円縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1122	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (13.8cm)	電前 床面上9.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	尖り気味の丸底から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部斜方向直ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部・底部丁寧ナダ。
1131	須恵系 杯形土器	口縁部欠片	口 (14.0cm) 高 4.6cm 底 8.9cm	南壁端 床面上14.5cm	①胎土を多く含む。 ②還元色。 ③におい焼7.5YR6/1	平皿から、直線的に外反する体部。体部下位に直削りを施す。 外面 口縁部～体部上段回転ナダ。体部下位～底部回転直削り。 内面 回転ナダ調整。
1126	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (12.0cm) 高 3.3cm	南壁 床面上26.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化色。 ③焼5YR6/6	わずかな丸底から低い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り、円縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1132	須恵系 高台付 碗形土器	底部破片	底 (12.0cm)	南壁 床面上49.5cm	①微細黒色磁物粒を含む。 ②還元色。 ③RN/6	下位にわずかな丸みをもつ体部。断面三角形の高台を付す。 内外面 回転ナダ調整。
1119	土師器 杯形土器	口縁～体部上段破片	口 20.6cm	電前 床面上2.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	膨らみのない胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。一部直削り。体部上段斜方向直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部斜方向直ナダ。
1120	土師器 壺形土器	口縁部破片	口 (13.8cm)	南東壁端 床面上22.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化色。 ③におい焼7.5YR6/4	小さく外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナダ。 内面 口縁部横ナダ。
1127	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (14.0cm)	埋没段土	①細砂を含む。 ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	わずかな丸底から低い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。右日正直削り。
1128	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (18.8cm)	埋没段土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化色。 ③におい焼7.5YR6/4	体部と口縁部を両方横焼をもつ。大形。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1129	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (16.0cm)	埋没段土	①細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤焼5YR5/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。底部直削り、円縁ナダ。 内面 口縁部横ナダ。底部丁寧ナダ。
1133	須恵系 杯形土器	口縁～底部破片	口 (14.8cm) 高 4.0cm	埋没段土	①微細砂を多く含む。 ②還元色。 ③灰RN/4	平皿の底部から、やや内反する体部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部回転ナダ調整。底部不削り。 内面 口縁部横ナダ。体部・底部丁寧ナダ。
1134	須恵系 杯形土器	口縁～底部破片	口 (14.2cm) 高 3.9cm 底 (8.6cm)	埋没段土	①細砂を少量含む。 ②還元色。 ③灰7.5YR6/1	平皿の底部から、下位に膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナダ。体部下位～底部回転直削り。 内面 回転ナダ調整。

遺物観察表

(7区6号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1135	須置器 杯形土器	底部のみ残存 底 8.6cm		埋没土	①直径1~5cmの砂粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5YR/3	平底の厚い底部から、立ち上がり部分に置用りを施す体部に至る。 外面 底部右回転置用り。 内面 底部回転ナダ。
1136	須置器 高台付 杯形土器	底部のみ残存 底 (11.6cm)		埋没土	①燧石を含む。 ②還元焰。 ③灰白N7/	平底の底部から、下に丸みのある体部に至る。断面台形の高台を付り 外面 回転ナダ。体部下部の一部に回転置用り痕が残る。底部回転置用り後、周縁の回転置用り。内面 回転ナダ。
1137	須置器 蓋形土器	口縁部破片 口 (11.4cm)		埋没土	①燧石を含む。 ②還元焰。 ③オリープR2.5GY6/1	水平な天井部から、突帯状の縁をもって屈曲し、長く垂直に垂れる口縁部に至る。 内外面 丁寧なナダ調整。
1138	須置器 蓋形土器	天井部破片 口 (9.4cm)		埋没土	①燧石・黒褐色炭化物を含む。 ②還元焰。 ③灰SY6/1	水平な天井部から、縁をもって垂直に垂れる短い口縁部に至る。 内外面とも回転ナダ。
1121	土師器 台付 蓋形土器	台部のみ残存 高 (9.4cm)		埋没土	①燧石を多量に含む。 ②還元焰。 ③明褐色5YR5/8	中位に縁をもってハの字状に開く台部。 外面 台部上半部方向置ナダ、下半部ナダ。 内面 底部指ナダ。台部上半部斜状指ナダ、下半部ナダ。

7区6号住居出土遺物観察表〈石器〉第136回・PL48

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質 産地 (R)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S118	砥石・磨石	11.2 × 7.5 4.1	煎粒安山岩 710	埋没土	断面長方形の厚い板状の石。表面には磨行痕。裏面には磨り面が残る。

7区7号住居出土遺物観察表〈土器〉第137回・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1381	土師器 杯形土器	口縁~底部のみ残存 口 (12.8cm) 高 3.1cm		埋没土	①燧石を多く含む。 ②還元焰。 ③明褐色5YR5/8	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部破片ナダ、下半部ナダ。底部磨削り。 内面 口縁部破片ナダ。底部丁寧なナダ。
1380	土師器 台付 蓋形土器	台部のみ残存 底 (9.5cm)		埋没土	①燧石・細砂を含む。 ②還元焰。 ③明褐色5YR5/8	ハの字に開く台部破片。 外面 台部指ナダ。 内面 台部指ナダ。

7区7号住居出土遺物観察表〈石器〉第137回・PL49

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質 産地 (R)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S148	砥石	7.8 × 2.4 2.6	磁灰石 47.6	埋没土	断面台形の砥石の平欠品。小口を除く、各表面が使用されている。

8区4号住居出土遺物観察表〈土器〉第139回・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1383	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (15.4cm)		竈内 床面直上	①燧石を少量含む。 ②還元焰。 ③明褐色5YR5/8	両面する底部から、直立する短い口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナダ。体部磨削り後、ナダ調整。 内面 口縁部破片ナダ。体部丁寧なナダ。
1382	土師器 蓋形土器	口縁~体部上のみ残存 口 (21.4cm)		中央部西寄り 床面直上10cm	①燧石を多量に含む。 ②還元焰。 ③赤褐色5YR4/6	扁平の少ない胴部から、緩やかな口縁部に至る。 外面 口縁部破片ナダ。体部上位横方向置用り。 内面 口縁部破片ナダ。体部上位横方向置用り。
1384	土師器 杯形土器	口縁~底部のみ残存 口 (12.8cm) 高 3.5cm		埋没土	①燧石を含む。 ②還元焰。 ③灰白N7.5YR/4	平底気味の底部から、両面気味の体部に至る。 外面 口縁部破片ナダ。体部指ナダ。底部磨削り。磨耗著しく単位・方向不明。内面 口縁部破片ナダ。体部~底部丁寧なナダ。

8区5号住居出土遺物観察表〈土器〉第141回・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1386	土師器 台付 蓋形土器	口縁~体部のみ残存 口 (12.8cm)		東壁寄り 床面直上15cm	①燧石・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白N7.5YR5/4	口縁部が一直立して上方で外反する。 外面 口縁部破片ナダ。体部上位横方向置用り、下半部方向置用り。台部との接合部破片ナダ。内面 口縁部破片ナダ。体部横方向置ナダ。
1387	土師器 杯形土器	口縁~底部のみ残存 口 (11.8cm) 高 2.9cm		埋没土	①燧石を含む。 ②還元焰。 ③灰白N7.5YR7/4	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部破片ナダ。体部ナダ。底部磨削り後、周縁指ナダ。 内面 口縁部破片ナダ。体部~底部丁寧なナダ。
1388	須置器 杯形土器	口縁~底部のみ残存 口 (12.2cm) 高 3.3cm 底 8.0cm		埋没土	①燧石を含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5YR/1	あげ底の底部から、体部が直線的に外反する。 右回転クロ型形。底部回転軸回り難し。周縁の一部にナダ。 内外面 回転ナダ調整。
1390	灰褐色 皿形土器	口縁部破片 口 (11.0cm)		埋没土	①硬質な胎土。 ②還元焰。 ③灰白SY6/1	小さく外反する口縁部破片。 内外面 回転ナダ調整。 内面 磨削。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

8区6号住居出土遺物観察表(土器)第142図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1301	土師罐 杯形土器	口縁~底部破片 口(12.0cm)高 2.9cm	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。

8区13号住居出土遺物観察表(土器)第143図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1397	土師罐 杯形土器	口縁~底部残存 口 12.3cm 高 2.6cm 底 9.6cm	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。

9区3号住居出土遺物観察表(土器)第144図・PL51

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1401	土師罐 杯形土器	口縁~底部残存 口(12.4cm)	南部 床面直上		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	平直尖味の底部から、両肩気味の体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1402	土師罐 杯形土器	口縁~底部残存 口(12.8cm)高 2.9cm	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	平直尖味の底部から、両肩気味の体部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1404	須恵器 杯形土器	口縁~底部破片 口(13.3cm)高 3.8cm 底(8.4cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③BGN4/	やや上り傾の底部から、緩やかに外反する体部に至る。 内外両面 回転ナデ調整。
1403	須恵器 高台付 杯形土器	体部下位~高台部残存 底 8.3cm	埋没土		①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③B5Y6/1	内湾する体部で、外反する前部三角形の高台を付す。 外側 底部右回転クロネ切り磨し後、付高台。体部回転ナデ調整。 内側 回転ナデ調整。

10区1号住居出土遺物観察表(土器)第145図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1405	土師罐 杯形土器	口縁~底部破片 口(12.0cm)	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1406	土師罐 杯形土器	口縁~底部破片 口(11.8cm)	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。下部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。

10区2号住居出土遺物観察表(土器)第146図・PL51

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1142	土師罐 杯形土器	口縁~底部破片 口(14.0cm)	南東部 床面直上		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 横ナデ。底部寛削り。 内側 横ナデ。底部ナデ調整。
1144	須恵器 高形土器	口縁部・胴部一部欠損 口 12.6cm 高 2.3cm 肩 3.5cm	南西部 床面直上4cm		①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③5Y4/1	水平な天井部から緩やかに両面して口縁部に至り、つまみだした短い返りが付く。 外側 両面横ナデ。口縁部回転ナデ。内側 天井部~口縁部回転ナデ
1139	土師罐 土師土器	口縁~体部上位残存 口(21.4cm)	竈内 床面直上3.5cm		①細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/5	中位に膨らみをもつ胴部から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部横方向内湾ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向内湾ナデ。
1143	土師罐 盤形土器	口縁~底部残存 口(15.8cm)	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色7.5YR5/8	体部の弱い傾斜から、外湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1145	須恵器 高形土器	口縁部破片 口(19.8cm)	埋没土		①微細黒色結核物を少量含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	水平な天井部から緩やかに両面して口縁部に至り、口縁部寄りに返りが付く。 外側 天井部中位手持ち横ナデ。口縁部横ナデ。内側 回転ナデ調整

10区3号住居出土遺物観察表(土器)第149図・PL52

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1151	須恵器 杯形土器	底部残存 底(7.5cm)	西側 床面直上2cm		①微細黒色結核物を含む。 ②還元焼。 ③灰白N7/	小さな平底から、立ち上がり部に巾の広いナデを擁す体部に至る。 外側 体部回転ナデ調整。底部切り磨し後、回転削り。 内側 底部回転ナデ調整。
1147	土師罐 杯形土器	口縁部欠損 口 12.8cm 高 3.6cm	中央部北寄り 床面直上6cm		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部寛削り。両横ナデ。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1148	土師罐 杯形土器	口縁~底部破片 口(13.0cm)	中央部南寄り 床面直上14cm		①微細砂・小礫を少量含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	両面する底部から、直立する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内側 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

遺物観察表

(10区3号住居)

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色面	器形・整形の特徴
1150	圓底瓶 高台付 輪形土器	口縁～高台部/残存		西壁 床面上2cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、直線的に外反する口縁部に至る。 断面台形の高く傾く高台を付す。外側 口縁部～体部中位回転ナデ。 体部下位回転部削り。直線回転削り。高台部ナデ。 内面 回転ナデ調整。
1149	土師器 盤形土器	口縁部/残存		埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③橙2.5YR6/6	体部の腹縁から、外側する口縁部に至る。 外側 口縁部狭ナデ。体部斜方向削り。 内側 口縁部狭ナデ。体部丁寧ナデ。
1152	圓底器 钵形土器	口縁～底部/残存		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	平底から、直線的に外反する体部に至る。立ち上がり部に削りを施す 外側 口縁部～体部回転ナデ。底部右側削り。 内面 回転ナデ。
1146	土師器 盤形土器	口縁部破片		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③橙7.5YR6/6	ゆるみのない体部上位から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外側 口縁部狭ナデ。体部斜方向削り。 内側 口縁部狭ナデ。体部斜方向削り。

群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第203集

荒砥上ノ坊遺跡Ⅱ
歴史時代前半期の調査
〈遺物観察表編〉

昭和57年度県営調整整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

平成8年3月20日 印刷

平成8年3月25日 発行

編集・発行／群馬県教育委員会

〒371 前橋市大手町1丁目1番1号

電話 (0272) 23-1111(代表)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社